

デジタルHDビデオ カメラレコーダー

取扱説明書

目次

準備する

撮る/見る

便利な機能を使う

編集する

他機を使って保存する

本機の設定を変える

その他・索引

AVCHD
Progressive

HDMI
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

InfoLITHIUM



MEMORY STICK™



CLASS②

お買い上げいただきありがとうございます
います

警告 電気製品は、安全のための注
意事項を守らないと、火災や
人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な
注意事項と製品の取り扱いかたを示して
います。この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになっ
たあとは、いつでも見られるところに必ず保
管してください。



NXCAM

使用前に必ずお読み ください

録画・録音について

- ・事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- ・万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- ・あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- ・撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える(特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合)。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調整することで現象が軽減されます。(67ページ)
 - 被写体にフラッシュを当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。

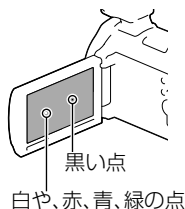
取り扱い上のご注意について

- ・本機で次のことをすると、記録メディアが壊れたり、記録した映像が再生できなくなったり、失われたりする場合があります。また、本機の故障の原因になります。
 - アクセスランプ(21ページ)が点灯、点滅中にメモリーカードを取り出す
 - 本機の  (動画)ランプ /  (静止画)ランプ(23、24ページ)や、アクセスランプ(21ページ)が点灯、点滅中に本機からバッテリーやACアダプターを取り外したり、本機に衝撃や振動を与える

- ・本機の電源が入っている状態でUSB接続しているときに、液晶モニターを閉じないでください。記録した映像が失われる場合があります。
- ・本機はご利用になる場所の規則に従ってお使いください。

液晶モニター、ファインダーについて

- ・液晶モニターやファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



本書の表記、イラスト、画面表示について

- ・画像の例としてステルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。また、本機のイラストや画面表示は、わかりやすくするために誇張、省略されています。
- ・本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ・本書では、内蔵メモリーとメモリーカードを「記録メディア」といいます。
- ・本書では、ハイビジョン画質(HD)で保存したDVDディスクを「AVCHD記録ディスク」と表現しています。

目次

使用前に必ずお読みください	2
各部のなまえ	6

準備する

同梱品を確認する	10
付属のマイクやレンズフードを取り付ける	11
XLRアダプターを取り付ける	11
マイクを取り付ける	11
レンズフードを取り付ける	13
充電する	14
パソコンで充電する	15
電源を入れて日時を合わせる	17
表示言語を変更する	17
メディアを準備する	21
メディアを切り換える	21
メモリーカードを入れる	21

撮る/見る

撮る	23
動画を撮る	23
静止画を撮る	24
ズームする	27
見る	28
再生中にボタンを操作する	30

便利な機能を使う

人物をきれいに撮る	32
選んだ被写体をきれいに撮る(優先顔キメ機能)	32
笑顔を逃さず撮る(スマイルシャッター)	32
状況に合わせて撮る	33
シーンに合わせて自動調節する(おまかせオート撮影)	33
手ブレを防いで撮る(SteadyShot)	34
暗い場所で撮る(NightShot)	34
薄暗い場所で撮る(ビデオライト)	35

画質を変えて撮る	36
ハイビジョン画質(HD)の録画フォーマットを選ぶ	36
静止画の画質を変える(画像サイズ)	37
マニュアルで撮る	37
絞り(アイリス)優先で撮る	37
シャッタースピード優先で撮る	38
ダイヤル操作でマニュアル調節をする	38
音の設定をする	39
音声入力する方法を選ぶ	39
内蔵マイクを使う	39
外部マイク(別売り)を使う	39
付属のマイクを使う	40
録音レベルを調節する	40
風切り音を低減する	41
外部音声機器などを使う	41
位置情報を記録する(GPS)	42
テレビにつないで見る	43
プロジェクターで見る	45







編集する

本機で編集する	47
削除する	47
動画を分割する	47
動画から静止画を切り出す	48

他機を使って保存する

ダビングガイド	49
ディスクを再生する	50
ブルーレイディスクレコーダーで保存する	51
レコーダーで保存する	52
レコーダーなどで標準画質(STD)のディスクを作る	52
外付けメディアに保存する	53
パソコンを使って保存する	55
パソコンの準備をする(Windows)	55
準備1 パソコン環境を確かめる	55
準備2 ソフトウェア「Content Management Utility」をインストールする	55

本機の設定を変える

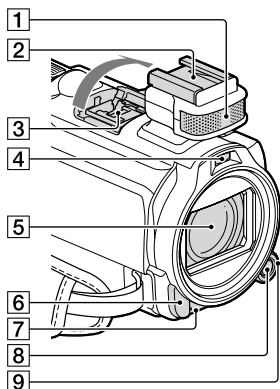
メニューを設定する	58
メニュー一覧	60
 Shooting Mode(撮影の種類に関する設定)	64
 Camera/Audio(好みの撮影をするときの設定)	65
 Rec/Media SET(画質や記録メディアに関する設定)	76
 TC/UB(タイムコードやユーザービットの設定)	78
 Edit/Copy(コピー・プロテクトなどの編集に関する設定)	79
 Setup(その他のいろいろな設定)	81

その他・索引

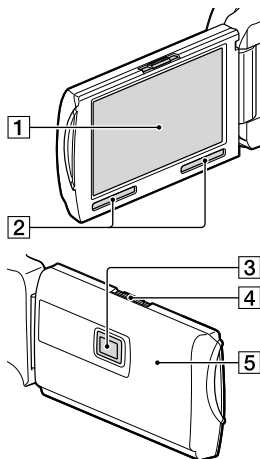
故障かな?と思ったら	86
自己診断・警告表示	93
記録時間・枚数について	98
バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安	98
動画の撮影可能時間の目安	98
静止画の撮影可能枚数の目安	99
海外で使う	100
使用上のご注意とお手入れ	102
AVCHD規格について	102
GPSについて	102
メモリーカードについて	103
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	104
x.v.Color(エクスプイ・カラー)について	105
本機の取り扱いについて	105
主な仕様	109
保証書とアフターサービス	113
画面表示	113
索引	115

各部のなまえ

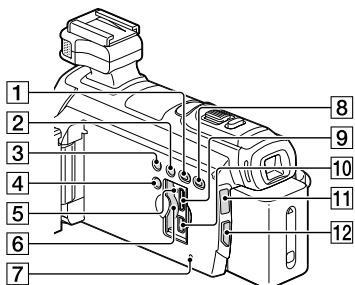
()内は参照ページです。



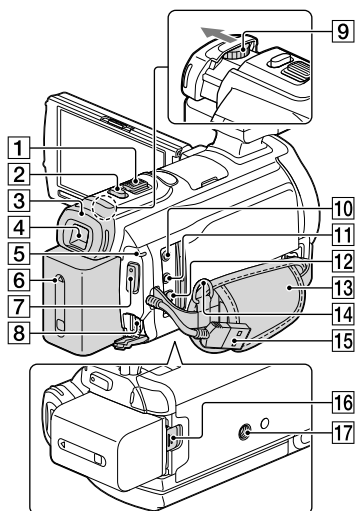
- ① 内蔵マイク(39)
- ② アクセサリーシュー(11)
- ③ アクティブインターフェースシュー
Active Interface Shoe
- ④ フラッシュ /ビデオライト発光部
- ⑤ レンズ(カールツァイスレンズ搭載)
- ⑥ リモコン受光部・赤外線発光部
- ⑦ 録画ランプ(84)
録画時に赤く点灯します。
記録メディアやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。
- ⑧ MANUAL(マニュアル)ボタン(38)
- ⑨ MANUAL(マニュアル)ダイヤル(38)



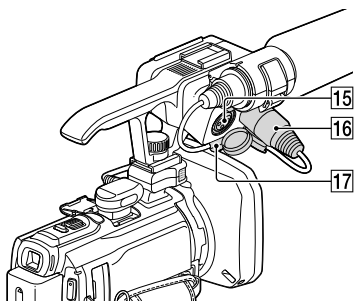
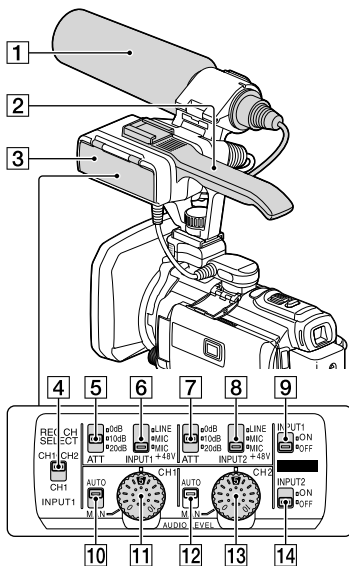
- ① 液晶モニター /タッチパネル(17, 19)
液晶モニターを180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するとき便利です。
- ② スピーカー
- ③ プロジェクターレンズ(45)
- ④ PROJECTOR FOCUS(プロジェクターフォーカス)レバー(45)
- ⑤ GPSアンテナ(42)
GPSアンテナは液晶パネル部分にあります。



- 1 DISP(DISPLAY) ボタン(19)
- 2 LIGHT(ビデオライト)ボタン(35)
- 3 NIGHTSHOT(ナイトショット)ボタン(34)
- 4 POWER(電源) ボタン
- 5 メモリーカードアクセスランプ(21)
点灯、点滅中は、データの読み書きを行います。
- 6 メモリーカード スロット(21)
- 7 RESET(リセット)ボタン
先のとがったもので押してください。
日時を含めすべての設定が解除されます。
- 8 PROJECTOR(プロジェクター)ボタン(45)
- 9 HDMI OUT端子(43)
- 10 Ψ (USB)端子(53)
- 11 \square (動画) / \blacksquare (静止画)ランプ(23、24)
- 12 MODE(モード) ボタン(23、24)

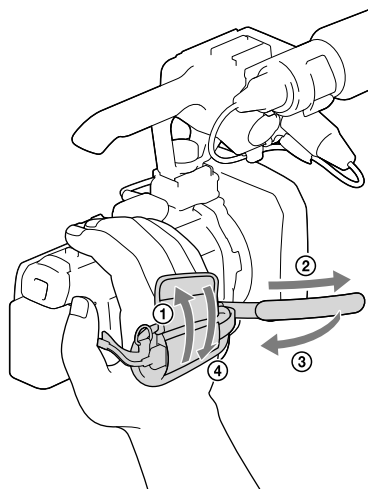


- 1 ズームレバー(27)
- 2 FIXED SHOT/PHOTOボタン(24)
- 3 アイカップ
- 4 ファインダー(18)
- 5 CHG(充電)ランプ(14)
- 6 バッテリーパック(14)
- 7 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(23)
- 8 DC IN端子(14)
- 9 視度調整つまみ(18)
- 10 \mathcal{M} (マイク)端子(PLUG IN POWER)
- 11 Ω (ヘッドホン)端子
- 12 A/Vリモート端子(43)
- 13 グリップベルト
- 14 ショルダーベルト取り付け部
- 15 ビルトインUSBケーブル(15)
- 16 BATT(バッテリー)取り外しレバー(15)
- 17 三脚用ネジ穴
三脚(別売、ネジの長さが5.5mm以下)を取り付けます。

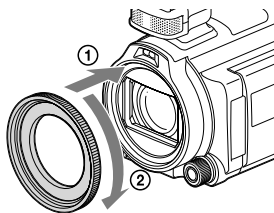


- ① マイク(11)
- ② ハンドル
- ③ XLRアダプター(11)
- ④ REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ (40)
- ⑤ ATT(INPUT1)スイッチ(40)
- ⑥ INPUT1(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ (40)
- ⑦ ATT(INPUT2)スイッチ(40)
- ⑧ INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ (40)
- ⑨ LOW CUT(INPUT1)スイッチ(40)
- ⑩ AUTO/MAN(CH1)スイッチ(40)
- ⑪ AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル(40)
- ⑫ AUTO/MAN(CH2)スイッチ(40)
- ⑬ AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル(40)
- ⑭ LOW CUT(INPUT2)スイッチ(40)
- ⑮ INPUT2端子(40)
- ⑯ INPUT1端子(40)
- ⑰ ケーブルホルダー(12)

グリップベルトを締めるには



ステップダウンリングを取り付けるには

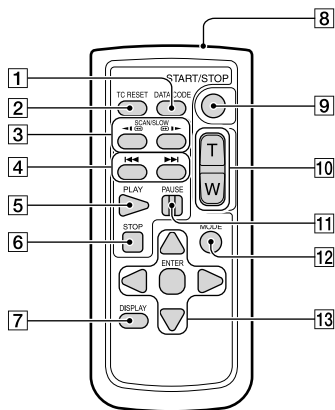


ステップダウンリングを本機に合わせ
(①)、矢印の方向に固定されるまで回し
ます(②)。

- ステップダウンリング装着によりフィルタ
径を37mmに変更でき、推奨のコンバージョン
レンズが使用可能になります。
- ステップダウンリングを装着しても、ワイドエ
ンドコンバージョンレンズ/フィルターは取り
付けることはできません。
- 取り外すには、ステップダウンリングを矢印の
反対方向に回します。

ワイヤレスリモコン

プロジェクターの投影中はリモコン操作
が便利です。



- ① DATA CODEボタン(81)
- ② TC RESETボタン(78)
- ③ SCAN/SLOWボタン(31)
- ④ ◀◀/▶▶(PREV/NEXT)ボタン(30)
- ⑤ PLAYボタン
- ⑥ STOPボタン
- ⑦ DISPLAYボタン(19)
- ⑧ リモコン発光部
- ⑨ START/STOPボタン(23)
- ⑩ ズームボタン(27)
- ⑪ PAUSEボタン
- ⑫ MODEボタン(28)
再生中に押すと、イベントブラウズ画面を表
示します。
- ⑬ ◀/▶/▲/▼/ENTER(決定)ボタン
いずれかのボタンを押すと、本機の画面に水
色の枠が表示されます。
◀/▶/▲/▼で画面上の希望のボタンまたは項
目を選び、ENTER(決定)ボタンを押す。

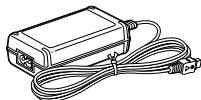
同梱品を確かめる

箱を開けたら、同梱品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

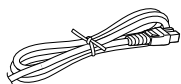
()内は個数。

本機(1)

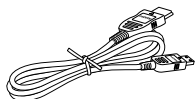
ACアダプター(1)



電源コード(1)



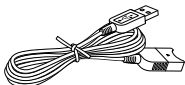
HDMIケーブル(1)



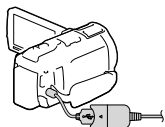
A/V接続ケーブル(1)



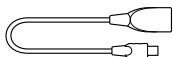
USB接続サポートケーブル(1)



- USB接続サポートケーブルは本機専用です。本機に組み込まれているビルトインUSBケーブルの長さが足りないときに使います。



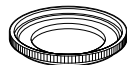
USBアダプターケーブル(1)



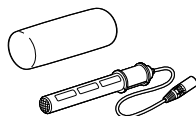
レンズフード(1)



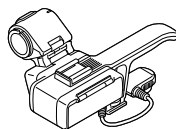
ステップダウンリング(1)



ウィンドスクリーン(1)、マイク(ECM-XM1)(1)



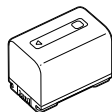
XLRアダプター(1)



ワイヤレスリモコン(1)



リチャージャブルバッテリーパックNP-FV70(1)



CD-ROM「Content Management Utility」(1)

CD-ROM「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)

取扱説明書(2)

保証書(1)

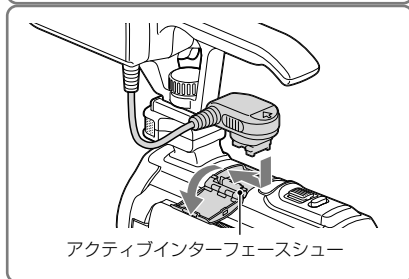
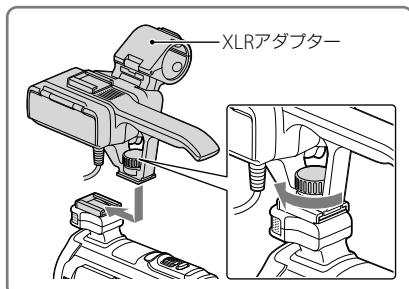
ソニー業務用商品相談窓口のご案内(1)

付属のマイクやレンズフードを取り付ける

内蔵マイクを使う場合は、付属のXLRアダプターやマイクを取り付ける必要はありません。

XLRアダプターを取り付ける

- 1 XLRアダプターを本機のアクセサリースューに取り付け、XLRアダプターのネジをしっかりと締める。
- 2 XLRアダプターの接続端子をアクティブインターフェースシューに取り付ける。

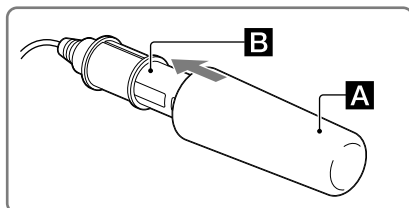


XLRアダプターを取り外すには

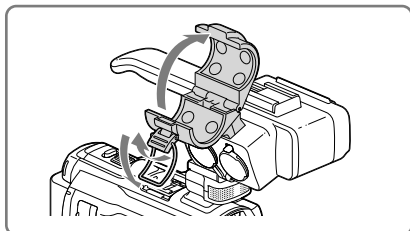
接続端子をアクティブインターフェースシューから外してから、XLRアダプターのネジをゆるめて外す。

マイクを取り付ける

- 1 付属のマイク **B** にウインドスクリーン **A** をかぶせる。

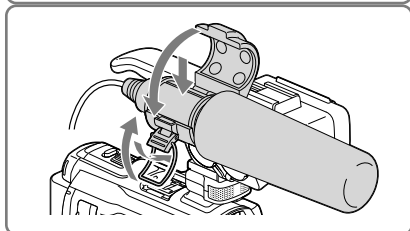


- 2 マイクホルダーのロックを外し、取り付け部のカバーを開ける。

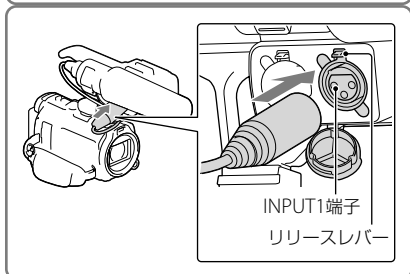


- 3 マイクをマイクホルダーの取り付け部に入れ、カバーを閉じ、マイクホルダーをロックする。

マイクは、型名(ECM-XM1)が記された部分が上になるように取り付けます。

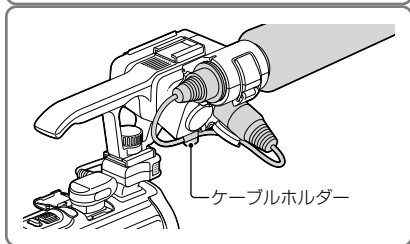


- 4 マイクケーブルをXLRアダプターのINPUT1端子につなぐ。



- 5 マイクケーブルをケーブルホルダーに取り付ける。

音声の設定については、39ページをご覧ください。

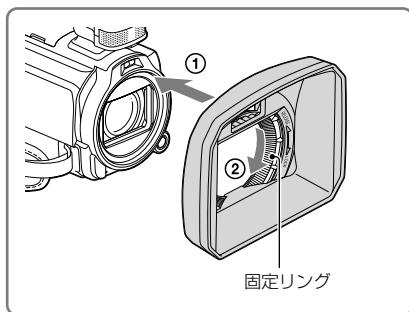


マイクケーブルを取り外すには

- 1 マイクをマイクホルダーから取り外す。
- 2 リリースレバーを下げながらプラグを持って引き抜く。

レンズフードを取り付ける

レンズフードの開口部とフラッシュ発光部を合わせ(①)、固定リングを矢印の方向に回す(②)。



レンズフードを取り外すには

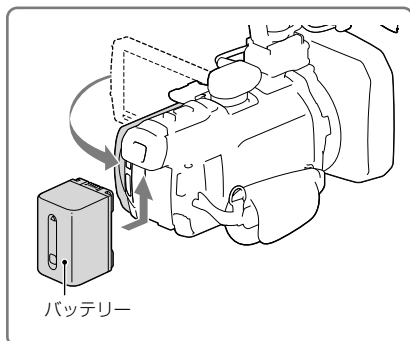
固定リングを取り付け時と反対方向に回して取り外す。

ご注意

- Nightshotを使用するときはレンズフードを取り外してください。取り付けたまま撮影すると、画面にレンズフードの影が映り込みます。
- 付属のワイヤレスリモコンを使うときは、レンズフードを取り外してください。

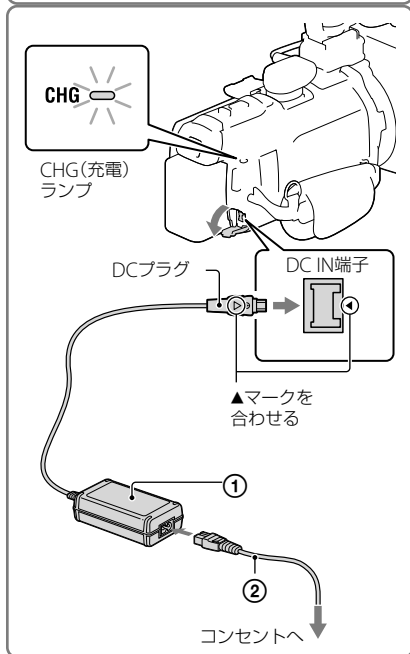
充電する

- 1 液晶モニターを閉じ、ファインダーを収納して、バッテリーを取り付ける。



- 2 ACアダプター(①)と電源コード(②)で本機とコンセントをつなぐ。

- CHG(充電)ランプが点灯します。
- CHG(充電)ランプが消灯したら充電完了です(満充電)。本機からACアダプターを取り外してください。

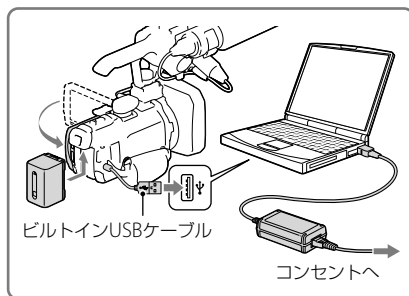


ご注意

- “インフォリチウム”バッテリーVシリーズ以外は使えません。

パソコンで充電する

本機の電源を切り、ビルトインUSBケーブルで、起動しているパソコンにつなぐ。



コンセントから直接充電するには

USB充電ACアダプター AC-UD10(別売)を使うと、ビルトインUSBケーブルを使ってコンセントから充電できます。ソニー製のポータブル電源機器CP-AH2R、CP-AL、AC-UP100(別売)は使えません。

充電時間(満充電)

使い切った状態からのおよその時間(分)

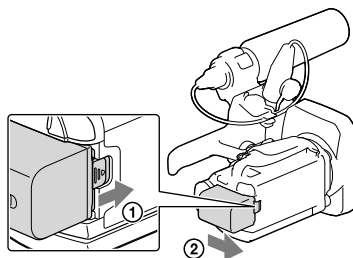
バッテリー型名	満充電時間	
	ACアダプター	ビルトインUSBケーブル* (パソコン使用時)
NP-FV50	155	280
NP-FV70(付属)	195	545
NP-FV100	390	1,000

• 25℃で充電したときの時間です。10℃～30℃での充電をおすすめします。

* USB接続サポートケーブルを使わないときの充電時間です。

バッテリーを取り外すには

電源を切った状態で、BATT(バッテリー)取り外しレバーをずらしながら①)バッテリーを取り外す②)。





コンセントの電源で使うには

充電するつなぎかたのまま操作する。

バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

バッテリーについて

- バッテリーやACアダプターを取り外すときは、本機の電源を切り、 (動画) ランプ/ (静止画) ランプ (23、24ページ)、アクセスランプ (21ページ) が消えていることを確認してください。
- 次のとき、充電中のCHG (充電) ランプが点滅することがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーの温度が低いとき
バッテリーを外して暖かいところに置いてください。
 - バッテリーの温度が高いとき
バッテリーを外して涼しいところに置いてください。
- ビデオライト (別売) を取り付けたときは、バッテリーパック NP-FV70 または NP-FV100 でのご使用をおすすめします。
- “インフォリチウム” バッテリー NP-FV30 は使えません。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを本機から抜くときは、DCプラグと本機を持って取り外してください。

電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

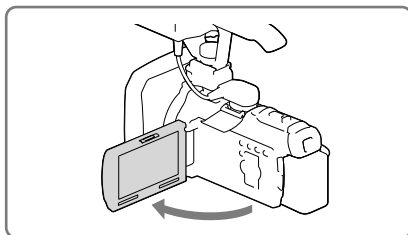


- 撮影、再生時間 (99ページ)
- バッテリー残量表示 (25ページ)
- 海外で使う (101ページ)

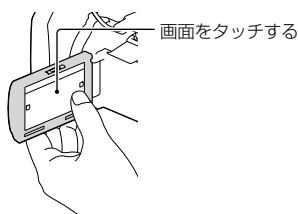
電源を入れて日時を合わせる

1 液晶モニターを開いて電源を入れる。

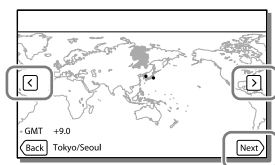
- POWERボタン(7ページ)でも操作できます。



2 言語を選び、[Next]を選ぶ。

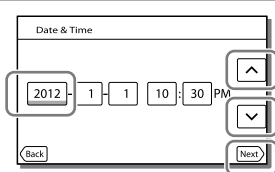


3 </>でエリアを選び、[Next]を選ぶ。



4 サマータイム、表示形式、日時を設定する。

- [Summer Time]を[On]にすると、時計が1時間進みます。
- 日時を設定するときは項目を選び、 \uparrow / \downarrow で数値を設定します。
- [OK]を選ぶと日時合わせが完了します。



表示言語を変更する

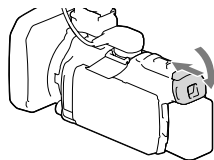
画面表示やお知らせメッセージの言語を変更することができます。

[MENU] → [Setup] → [General Settings] → [Language Setting] → お好みの表示言語を選ぶ。

電源を切るには

液晶モニターを閉じるか、POWERボタン(7ページ)を押す。

ファインダーが引き出されているときは収納してください。



電源の入/切について

液晶画面とファインダーの状態によって、電源の入/切が変わります。

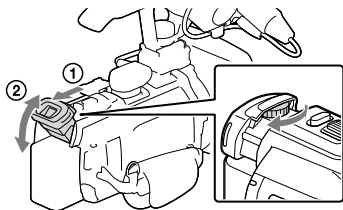
液晶画面の状態	ファインダーの状態	電源
開いている	収納されている	入
	引き出されている	入
閉じている	収納されている	切
	引き出されている	入

ご注意

- 液晶画面が閉じていても、ファインダーが引き出されていると電源は切れません。電源を切るときは、ファインダーが元の位置に押し込まれていることを確認してください。

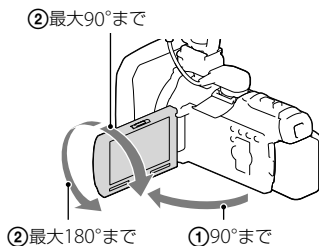
ファインダーのみで撮るときは

ファインダーを引き出して①、液晶画面を閉じ、見やすい角度に調節してください②。ファインダーの画面表示がぼやけているときは、ファインダー上の視度調整つまみで調節してください。



液晶モニターを見やすく調節するには

液晶モニターを90°まで開き①、見やすい角度に調節する②。

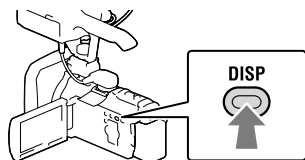


液晶画面の表示を切り換える

DISP(DISPLAY)ボタンを押して、画面の表示を切り換えます。

撮影時：詳細表示→簡易表示→非表示

再生時：詳細表示→簡易表示



- お買い上げ時の設定では、約3秒後に簡易表示に切り替わります([Display Setting], 83ページ)。液晶画面のボタン以外の部分をタッチすると、詳細表示になります。



操作音を出すには

[MENU] → [Setup] → [🔊General Settings] → [Beep] → [On] を選ぶ。

ご注意

- 日時、カメラデータ、経度緯度データは自動的に記録され、再生時のみ表示できます。表示させるには、[MENU] → [Setup] → [🎬Playback Settings] → [Data Code] → お好みの設定を選びます。
- 一度日時を設定すると自動的に日時が補正されます ([Auto Clock AD] / [Auto Area AD])、85ページ)。正しい時刻に補正されない場合は [Off] にしてください。



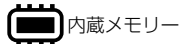
- 日時合わせのやりなおし : [Date & Time Setting] (85ページ)
- タッチパネルの調整 : [Calibration] (109ページ)

メディアを準備する

設定したメディアで記録、再生、編集ができます。

お買い上げ時の記録メディア

設定できる記録メディア

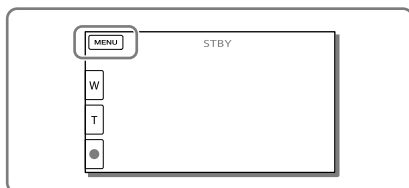


ご注意

- 動画と静止画で記録メディアを分けて記録することはできません。

メディアを切り換える

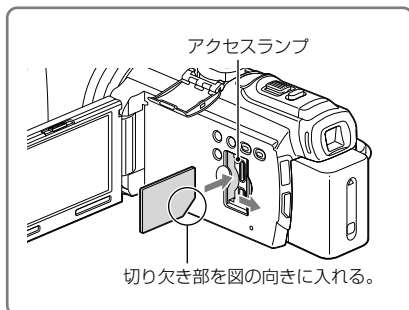
MENU → [Rec/Media SET] →
[Media Select] で希望の記録メ
ディアを選ぶ。



メモリーカードを入れる

カバーを開き、メモリーカードを
「カチッ」というまで押し込む。

- [Preparing image database file. Please wait.]が表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。




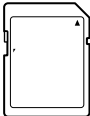
メモリーカードを取り出すには

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押す。

ご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット(初期化)することをおすすめします(77ページ)。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- [Failed to create a new Image Database File. It may be possible that there is not enough free space.]と表示されたときは、メモリーカードをフォーマットしてください(77ページ)。
- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

本機で使えるメモリーカード

		SDスピード クラス	動作確認済 の容量	本書での表現
"メモリスティック PRO デュオ" (Mark2)		—	32 GBまで	"メモリスティック PRO デュオ"
"メモリスティック PRO-HG デュオ"				
SDメモリーカード		Class4以上	64 GBまで	SDカード
SDHCメモリーカード				
SDXCメモリーカード				

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

ご注意

- マルチメディアカードは使用できません。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT*に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容がすべて失われます。

* exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。




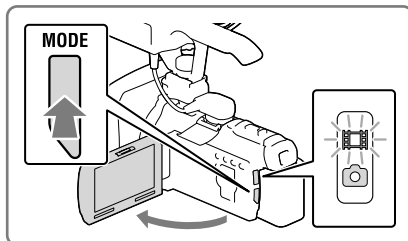
- 記録メディアの確認：画面表示(115ページ)
- 撮影時間、枚数(99ページ)

撮る

お買い上げ時の設定では、動画と静止画はメモリーカードに記録されます。動画はハイビジョン画質(HD)で記録されます。

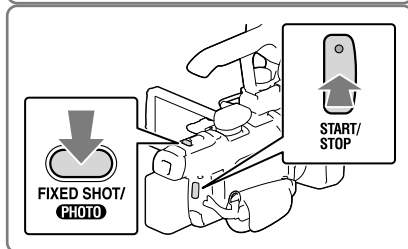
動画を撮る

- 1 液晶モニターを開き、MODEボタンを押して、 (動画)ランプを点灯させる。



- 2 START/STOPボタンを押して動画撮影を始める。

- 撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。




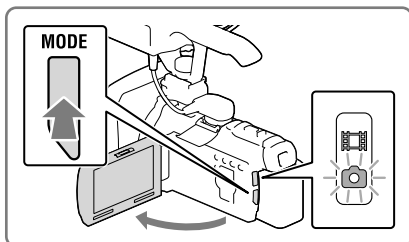
動画撮影中に静止画を撮るには(写真同時記録)

[FIXED SHOT/PHOTO]を[PHOTO]に設定してFIXED SHOT/PHOTOボタンを押す。


- [FIXED SHOT/PHOTO]が[FIXED SHOT]に設定されていると写真同時記録はできません。

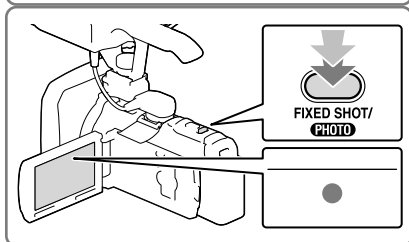
静止画を撮る

- 1 液晶モニターを開き、MODEボタンを押して、 (静止画) ランプを点灯させる。



- 2 FIXED SHOT/PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、深く押す。

- ピントが合うと、AE/AFロック表示が点灯します。
-  (静止画) ランプ点灯時は常に静止画撮影として使用できます。

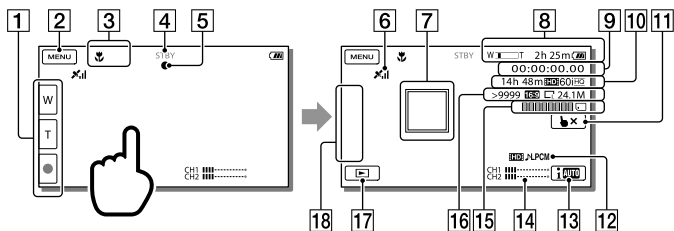


画面表示を出すには

液晶モニターの表示は電源を入れたり、撮影/再生モードに切り換えたあと、数秒経つと消えます。再度表示するには液晶モニターのボタン以外の部分をタッチします。

撮るときの画面表示

ここでは、動画モードと静止画モードの場合を合わせて説明します。()は参照ページです。

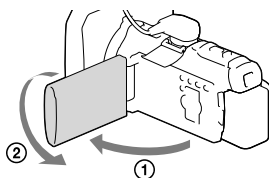


- 1 ズーム(W:ワイド/T:テレフォト)、録画スタート/ストップ(動画モード時)/PHOTO(静止画モード時)ボタン
- 2 メニューボタン(58)
- 3 おまかせオートの検出状態(33)
- 4 撮影状態([STBY]/[REC])
- 5 AE/AFロック(24)
- 6 GPS測位状況(42)
- 7 追尾フォーカス(32)
- 8 ズーム、バッテリー残量の目安
- 9 タイムコード
- 10 記録残量時間の目安、記録画質(HD/STD)、**HD**: Rec Format(36)
- 11 追尾フォーカス解除(32)
- 12 撮影時の記録音声
- 13 おまかせオートボタン(33)
- 14 音声レベル表示(76)
- 15 静止画記録中表示、記録/再生/編集メディア(21)
- 16 およその静止画撮影可能枚数、縦横比(16:9または4:3)と静止画サイズ(L/M/S)
- 17 画像再生ボタン(28)
- 18 マイボタン(お好みのメニューを登録)(74)

自分撮り(対面撮影)するには

液晶モニターを90°まで開いてから①)、
レンズ側に180°回す②)。

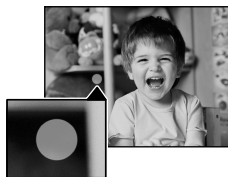
液晶モニターには左右反転で映りますが、
実際には左右正しく録画されます。



静止画に白く丸い点が写るときは

レンズの近くに浮かんでいるほこりや花
粉などにフラッシュが反射して、白く丸い
点のように撮影されてしまうことがあり
ます。

軽減するには、撮影環境を明るくし、フ
ラッシュなしで撮影してください。



ご注意

- 撮影中に液晶モニターを閉じると、録画が止まります。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 動画のファイルサイズが2 GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- **[動画]** ランプが点灯中はフラッシュは発光しません。
- 撮影終了後、次の状態のときは撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。
 - アクセスランプ(21ページ)が点灯中、または点滅中
 - 液晶モニター右上のメディアアイコンが動作中
- **[HD]** Rec Format[36ページ]を[1080/30p **FX**]、[1080/30p **FH**]、[1080/24p **FX**]、[1080/24p **FH**]に設定しているときは、動画撮影モードで静止画を撮影できません。
- 本機の液晶モニターは記録エリア全体を表示できるため、フルピクセル表示機能のないテレビに接続した場合、画面の上下左右が若干切れて表示されることがあります。[Guide Frame] (75ページ)を[On]にして、表示される外側の枠を目安に撮影することをおすすめします。



- 撮影可能時間、枚数 (99ページ)
- [Media Select] (21ページ)
- [Flash] (72ページ)
- 画面表示を常に表示 : [Display Setting] (83ページ)
- 画像サイズの変更 : [Image Size] (37ページ)
- 撮影可能時間、空き容量 : [Media Info] (77ページ)

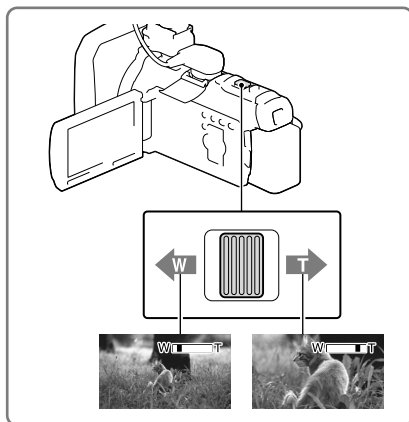
ズームする

ズームレバーを動かしてズームする。

W (Wide): ワイド・広角

T (Telephoto): テレフォト・望遠

- 17倍までズームできます(エクステンデッドズーム)。
- ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。



ご注意

- ズームレバーから急に指を離さないでください。操作音が記録される場合があります。
- 液晶モニターのW/Tでは、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 次のときは10倍までの光学ズームができます。
 - [SteadyShot]が[Active]以外のとき
 - [静止画]ランプ点灯中

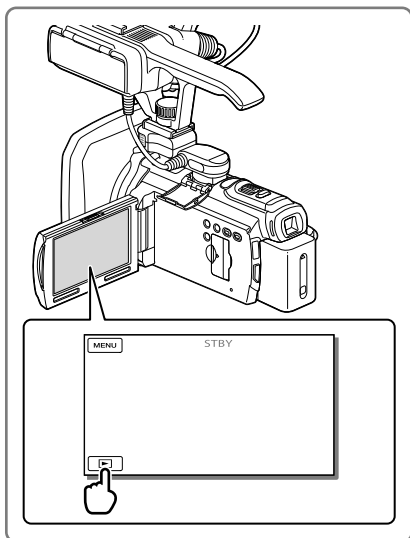


- さらにズームする：[Digital Zoom] (70ページ)

見る

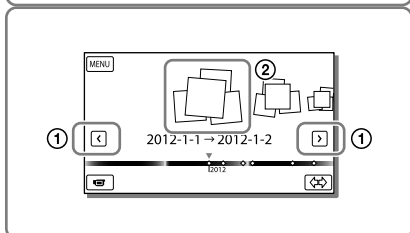
画像を撮影日時情報から探すことができます(イベントビュー)。

- 1 液晶モニターを開き、▶(画像再生)を押して再生モードにする。



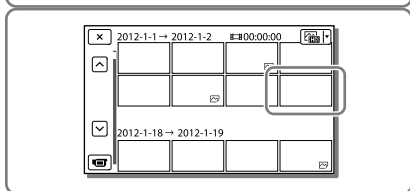
- 2 ◀/▶で見たいイベントを中央に表示させ(①)、イベントを選ぶ(②)。

- 撮影日時を元に、撮影した画像を自動でまとめてイベントとして表示します。

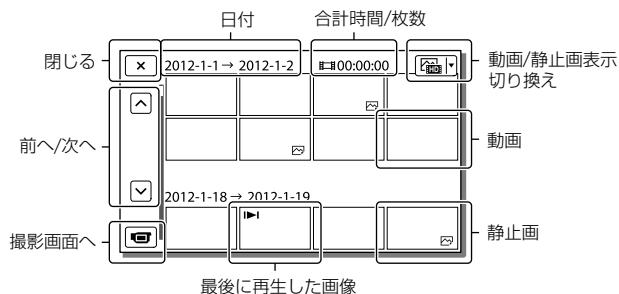
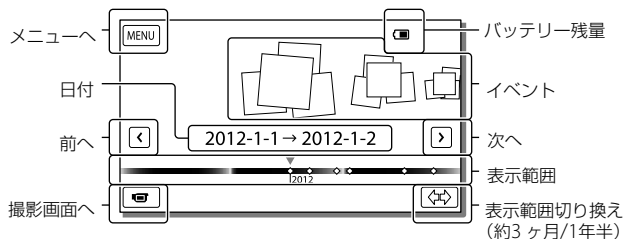


- 3 画像を選ぶ。

- 選んだ画像から最後の画像まで再生します。



イベントビューから見るときの画面表示



- インデックス画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」と言います。

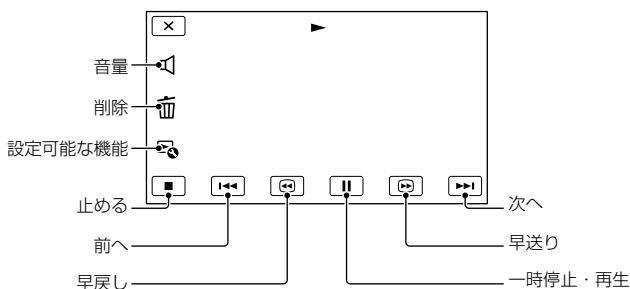
ご注意

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください(49ページ)。

再生中にボタンを操作する

液晶モニターの表示は数秒経つと消えます。再度表示するには液晶モニターをタッチします。

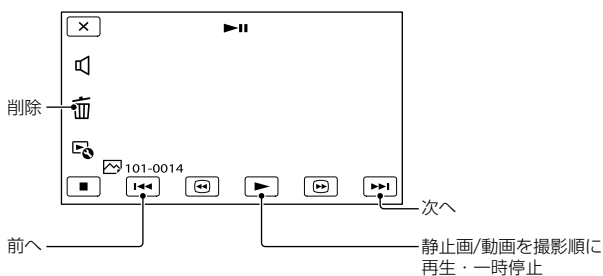
動画のとき



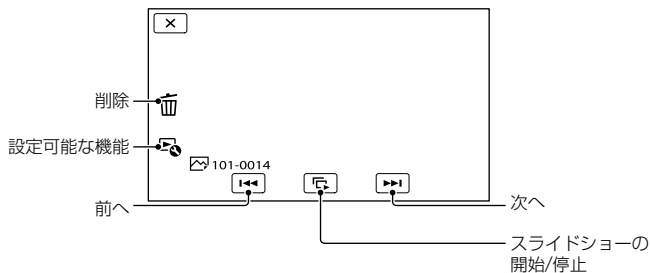
静止画のとき

静止画の画面表示は動画/静止画表示切り換えボタン(29ページ)の設定で変わります。

🖼️(動画/静止画)(お買い上げ時の設定)のとき



⏏(静止画)のとき



- [⏏]/[⏏]を選ぶ回数によって、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生します。
- 動画の一時停止中に[⏏]/[⏏]を選ぶとスロー再生が始まります。
- [⏏]→[Slideshow Set]を選ぶと、スライドショーの繰り返し再生を設定できます。

他機での再生について

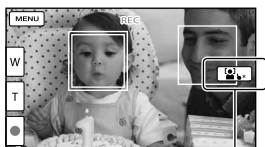
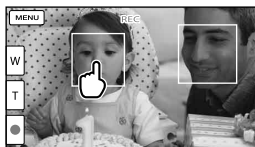
- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録した標準画質(STD)の動画は、他社製のAV機器では再生できません。

人物をきれいに撮る

選んだ被写体をきれいに撮る(優先顔キメ機能)

選んだ顔を追尾して、フォーカス、明るさ、肌の色が調節されます。

優先したい顔をタッチする。



二重枠が表示される。

解除

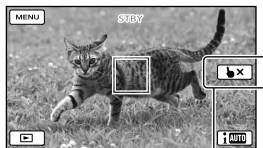
ご注意

- 周囲の明るさ、被写体の髪型などによってタッチした被写体が正しく検出できないことがあります。
- [Face Detection]を[Off]以外に設定してください(お買い上げ時の設定は[Auto])。

人物以外の被写体をきれいに撮る(追尾フォーカス)

被写体をタッチする。

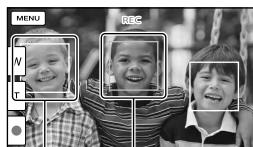
フォーカスが調節されます。



解除

笑顔を逃さず撮る(スマイルシャッター)

人物の笑顔を検出して自動的に静止画を記録します(72ページ、お買い上げ時の設定は[Dual Capture](動画録画中のみ))。



笑顔検出中(オレンジ色)

顔検出中

状況に合わせて撮る

ご注意

- [MENU] Rec Format]を[1080/60p PS]、[1080/60i FX]または[720/60p FX]に設定しているときは、動画撮影中にスマイルシャッターが動作しません。また、[1080/30p FX]、[1080/30p FH]、[1080/24p FX]または[1080/24p FH]に設定しているときは、スマイルシャッターが動作しません。
 - 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、笑顔を検出できないことがあります。
- ☎
- [Smile Sensitivity] (72ページ)

シーンに合わせて自動調節する (おまかせオート撮影)

被写体や撮影状況に合わせて設定で撮影できます(お買い上げ時の設定は[Off])。認識したシーンが液晶モニターに表示されます。

動画、静止画の撮影画面で、画面右下の **i AUTO** → [On] → **OK** を選ぶ。



顔：

顔を検出して、顔部分が最適になるようにフォーカス/色/露出を調節します。

👤(人物)、👶(赤ちゃん)

シーン：

撮影シーンに合わせて、最適な撮影設定に切り替わります。

☀(逆光)、🏔(風景)、🌙(夜景)、📡(スポットライト)、🌑(低照度)、📷(マクロ)

手ブレ：

手ブレの状態を感知して、撮影に最適な設定に切り替わります。

🚶(歩き)、🪁(三脚)

解除するには、撮影画面で **i AUTO** → [Off] を選びます。

おまかせオート撮影よりも明るく撮るには

[MENU] → [Camera/Audio] → [Manual Settings] → [Low Lux] を選ぶ。

ご注意

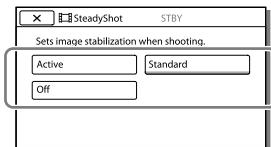
- 撮影状況によっては、認識や検出が希望どおりに働かない場合があります。

手ブレを防いで撮る (SteadyShot)

本機は空間光学手ブレ補正機能を搭載しており、ワイド撮影時だけでなくズーム撮影時にも、手ブレを大きく補正して撮影することができます(お買い上げ時の設定は[Standard])。

1 [MENU] → [Camera/Audio] → [Camera Settings] → [SteadyShot] を選ぶ。

2 お好みの設定を選ぶ。



Active :

空間光学手ブレ補正機能に加えて回転方向のブレも補正した撮影をする。

Standard :

より広角で空間光学手ブレ補正機能を使った撮影をする。

Off :

手ブレ補正機能を使わない。

さらに強く手ブレを防ぐには (FIXED SHOT)

動画撮影時に構図を固定し、安定した撮影をすることができます。

1 [MENU] → [Camera/Audio] → [Camera Settings] → [FIXED SHOT/PHOTO] → [FIXED SHOT] (お買い上げ時の設定) を選ぶ。

2 FIXED SHOT/PHOTO(23ページ) ボタンを押す。

- 解除するには、FIXED SHOT/PHOTOボタンをもう一度押します。
- パンやチルトなどの操作をする場合はOffにしてください。

ご注意

- [SteadyShot]の設定を変更すると、画角が変わります。
- 次のときは10倍までの光学ズームができます。
 - [SteadyShot]が[Active]以外のとき
 - [静止画]ランプ点灯中

暗い場所で撮る (NightShot)

真っ暗な場所でも撮影できます。

NIGHTSHOTボタンを押す。



赤外線発光部

- [NIGHTSHOT]が表示されます。

- 解除するには、NIGHTSHOTボタンをもう一度押します。

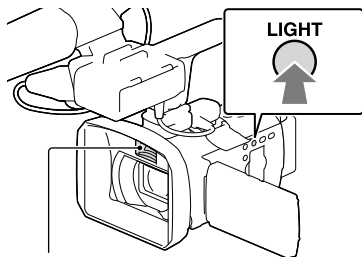
ご注意

- NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- レンズフードやステップダウンリング(付属)、コンバージョンレンズ(別売)は取り外してください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。
- ☞
- ピント合わせ：[Focus] (67ページ)
- 薄暗い場所でカラー撮影：[Low Lux] (68ページ)

- ビデオライト点灯中は、バッテリーが早く消耗します。
- 静止画撮影時は、ビデオライトが消灯し、フラッシュとして使用できます。
- ☞
- [Light Bright] (75ページ)

薄暗い場所で撮る(ビデオライト)

LIGHTボタンを押す。



フラッシュ/
ビデオライト
発光部

- LIGHTボタンを押すたびに、設定が下記の通り変わります。
切(表示なし)→オート(☺AUTO)→入(☺)
→...

ご注意

- 本機と被写体との推奨距離は、約0.3 mから1.5 mです。
- ビデオライトは非常に明るい光です。至近距離から直接目に光を向けて使用しないでください。

画質を変えて撮る

ハイビジョン画質(HD)の録画フォーマットを選ぶ

録画フォーマット(ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式)を選べます。お買い上げ時は[HD 1080/60i FX]に設定されています。

1 [MENU] → [Rec/Media SET] → [HD] Rec Format]を選ぶ。

2 お好みの設定を選ぶ。

設定値	説明
1080/60p PS	ビットレート PS：最大28Mbps
1080/60i FX	FX：最大24Mbps FH：約17Mbps(平均)
1080/60i FH	HQ：約9Mbps(平均) LP：約5Mbps(平均)
1080/60i HQ	画サイズ PS: 1920×1080
1080/60i LP	FX：1920×1080/1280×720
1080/30p FX	FH：1920×1080/1280×720
1080/30p FH	HQ：1440×1080 LP：1440×1080
1080/24p FX	フレームレート 24、30、60のいずれか
1080/24p FH	
720/60p FX	スキャン方式 i：インターレース
720/60p FH	p：プログレッシブ

設定値について

設定値の値がそれぞれ何を表しているかを[1080/24p FX]を例に説明します。

- 1080：有効走査線数を表しています。
- 24：フレームレートを表します。
- p：スキャン方式を表します。
- **FX**：録画モードを表します。

フレームレート表示について

画面に表示されるフレームレートは実際と異なります。

フレームレート表示	実際のフレームレート
24	23.98
30	29.97
60	59.94

ご注意

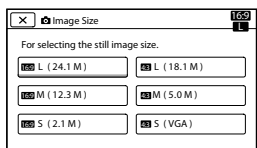
- [HD] Rec Format]で、PS または FX の録画モードに設定して撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます(51、53ページ)。
- 標準画質(STD)は480/60i **HQ**に固定されます。

マニュアルで撮る

静止画の画質を変える(画像サイズ)

設定する画質によって、撮影可能枚数(100ページ)が変わります。

- 1 **MENU** → [Rec/Media SET] → **Image Size** を選ぶ。
- 2 お好みの画像サイズを選ぶ。



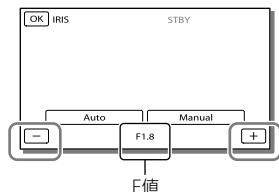
ご注意

- ワイド(16:9)で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされることがあります。
 - 写真同時記録(23ページ)の画像サイズもこの設定によって変更されます。
- 注意**
- 撮影可能枚数(100ページ)

絞り(アイリス)優先で撮る

絞りの開閉によってピントの合う範囲が変わります。

- 1 **MENU** → [Camera/Audio] → **Manual Settings** → **IRIS** で **Manual** を選ぶ。
- 2 **+**/**-** を選んで調節する。



F値(絞り値)が小さくなるほど絞りが開き、背景をぼかした表現になります。

絞り値によって画像の雰囲気を変えるには

絞りを開ける(F値が小さい)ほどピントの合う範囲が狭くなり、絞りを絞る(F値が大きい)ほどその範囲が広がります。背景をぼかしたいときは絞りを開け、全体をシャープに表現したいときは絞ってください。

ご注意

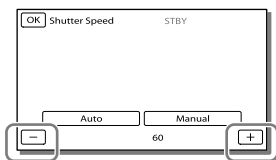
- 絞りをF3.4より開いた値(小さい絞り値)に設定しても、W側(広角)からT側(望遠)にズームするにつれて、絞り値はF3.4に変化します。

シャッタースピード優先で撮る

動きの速い被写体の表現を変えることができます。例えば溪流を撮る場合、シャッタースピードを速くすると水滴を細かく描写できます。遅くすると、水しぶきを流れるように表現できます。

1 **[MENU]** → **[Camera/Audio]**
→ **[Manual Settings]**
→ **[Shutter Speed]** で
[Manual] を選ぶ。

2 **[+]** / **[-]** を選んで調節する。



シャッタースピード値が小さくなるほど、流れるような表現になります。

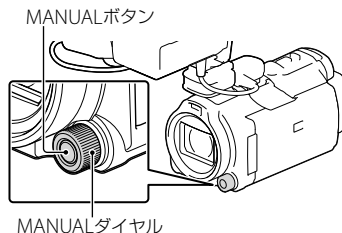
ご注意

• 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面がちらついたり（フリッカー現象）、色が変わったりすることがあります。このようなときは、電源周波数が50Hzの地域（関東地方など）ではシャッタースピードを1/100、60Hzの地域（関西地方など）では1/60に設定することをおすすめします。

ダイヤル操作でマニュアル調節をする

よく使うメニュー項目をダイヤル操作に割り当てると便利です。

ここでは**[Focus]**（お買い上げ時の設定）が割り当てられているときの説明をします。



1 **MANUAL** ボタンを押して、手動にする。

押すたびに自動/手動が切り替わります。

2 **MANUAL** ダイヤルを回して、フォーカスを調節する。

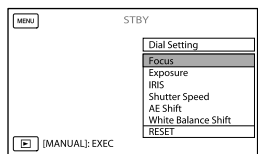
設定できる項目

- **[Focus]** (67ページ)
- **[Exposure]** (66ページ)
- **[IRIS]** (67ページ)
- **[Shutter Speed]** (67ページ)
- **[AE Shift]** (68ページ)
- **[White Balance Shift]** (68ページ)

音の設定をする


項目を割り当てるには

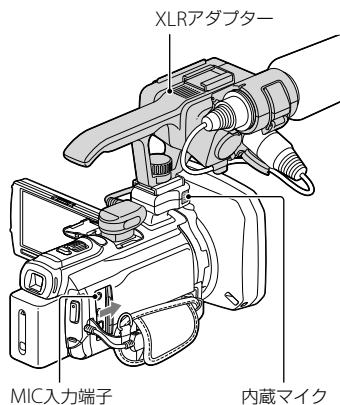
- 1 MANUALボタンを数秒間押し続ける。
[Dial Setting]画面が表示されます。
- 2 MANUALダイヤルを回して、割り当てたい項目を選ぶ。



- マニュアル調節をお買い上げ時の設定に戻すには、[RESET]を選びます。
- 3 MANUALボタンを押す。
- 撮影時の設定によって表示されるカメラデータが異なります。次のアイコンで表示されます。
 - [AUTO] : オート時
 - [MANUAL] : 画像明るさマニュアル設定時
 - [AEA] : 絞り優先時
 - [AES] : シャッタースピード優先時

ご注意

- いったん設定内容を固定したあと、別の項目の設定を行っても、先に行った設定の内容はそのまま保持されます。ただし、[AE Shift]を手動設定したあとで[Exposure]を設定した場合、[AE Shift]の効果は無効になります。
 - [Exposure]、[IRIS]、[Shutter Speed]は、同時に設定できません。最後に設定した機能のみが有効になります。
-  画面表示を見る : [Data Code] (81ページ)



音声入力する方法を選ぶ

本機で音声を入力する方法は、内蔵マイク、MIC入力端子、XLRアダプターの3種類から選べます。

MIC入力端子とXLRアダプターの接続状態により、以下の優先順位で選択されます。
MIC入力端子 > XLRアダプター > 内蔵マイク

内蔵マイクを使う

内蔵マイクを使うときは、XLRアダプターを取り外してください。ステレオ音声を収録できます。

ご注意

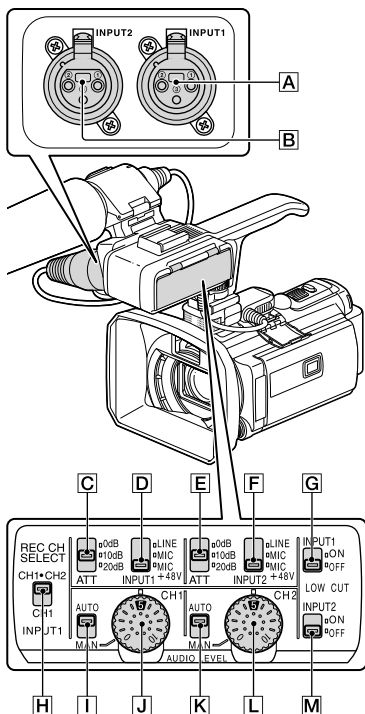
- 風切り音を低減するには、[Int. Mic. Wind NR] (74ページ)を[On]にしてください。

外部マイク(別売り)を使う

MIC入力端子に外部マイクを接続すると、外部マイクの音声に切り替わります。記録中には切り替わりません。

付属のマイクを使う

付属マイク(ECM-XM1)を使うときは、XLRアダプターを接続してください。鋭指向性のモノラル音声を収録できます。



外部音声の入力

A : INPUT1 端子

B : INPUT2 端子

音源の選択

D : INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ

F : INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ

音源レベルの選択

C : ATT(INPUT1)スイッチ

E : ATT(INPUT2)スイッチ

録音するチャンネルの選択

H : REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ

録音レベルの選択

I : AUTO/MAN(CH1)スイッチ

J : AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル

K : AUTO/MAN(CH2)スイッチ

L : AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル

風音低減の入/切

G : LOW CUT(INPUT1)スイッチ

M : LOW CUT(INPUT2)スイッチ

- 1 XLRアダプターを取り付け(11ページ)、INPUT1端子**A**に付属マイクを接続する。
- 2 INPUT 1 (LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ**D**を「MIC+48V」に切り換える。
- 3 REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ**H**を「CH1・CH2」に切り換える。

この設定で、同じ音声はCH1、CH2の両方に録音されます。CH1だけに録音したいときは、「CH1」にしてください。

録音レベルを調節する

INPUT1端子**A**/INPUT2端子**B**から入力した音声の録音レベルを調節できます。内蔵マイクとMIC入力端子の録音レベルは調節できません。

1 調節するチャンネル(CH1またはCH2)のAUTO/MANスイッチ(□または□)を「MAN」にする。

2 AUDIO LEVELダイヤル(□または□)を回して、適正なレベルになるように音量を調節する。

適正なレベルになっているか、ヘッドホンや音声レベル表示(76ページ)で確認してください。

自動調整に戻すには

AUTO/MANスイッチ(□または□)を「AUTO」にする。

風切り音を低減する

INPUT1端子[A]/INPUT2端子[B]から入力した音声の風切り音を低減できます。

LOW CUT(INPUT1)スイッチ[G]またはLOW CUT(INPUT2)スイッチ[M]を「ON」にする。

ご注意

- ハイビジョン画質(HD)で録画時の[HD] Audio Format]は、[Linear PCM]か[Dolby Digital]を選択できます(73ページ)。
- ヘッドホンやスピーカーの音量は、メニューの[Volume](74ページ)で調節できます。
- ヘッドホンや音声出力端子の音声出力タイミングを変えることができます(74ページ)。

外部音声機器などを使う

付属マイク以外のマイクや外部音声機器(ミキサーなど)を使うには、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ。

INPUT1/INPUT2端子に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(□または□)を設定します。

- 外部音声機器(ミキサーなど) : LINE
- ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク : MIC
- +48V電源(ファンタム電源)対応のマイク : MIC+48V

ご注意

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になりますので、接続する前にご確認ください。
- 接続しない端子のノイズが気になるときは、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(□または□)を「LINE」にしてください。

2 マイクの入力レベルを設定する。

INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(□または□)が「MIC」か「MIC+48V」のときは、ATT(INPUT1/INPUT2)スイッチ(□または□)で入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。

- 付属マイク(ECM-XM1)の場合は、ATT 10dBがおすすめです。
- 入力レベルは、以下ようになります。
ATT 0dB : -60dBu
ATT 10dB : -50dBu
ATT 20dB : -40dBu

位置情報を記録する (GPS)

ご注意

- INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ[D]または[F]がLINEのときは、入力レベルは+4dBuに固定されます。ATTスイッチを切り換えても入力レベルは変わりません。

3 録音するチャンネルを設定する。

REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ[H]で、録音するチャンネルを選びます。

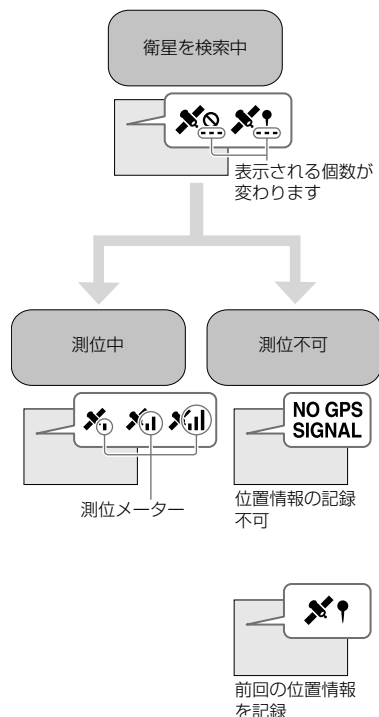
REC CH SELECT (INPUT1) スイッチの位置	CH1、CH2に録音される音声
CH1・CH2	INPUT1 → CH1 INPUT1 → CH2
CH1	INPUT1 → CH1 INPUT2 → CH2

ご注意

- XLR(3PIN)プラグが2個ついているステレオマイクを使うにはINPUT1端子[A]にLc h、INPUT2端子[B]にRc hを接続し、REC CH SELECT (INPUT1)スイッチ[H]をCH1に設定します。

お買い上げ時の設定では、動画や静止画の撮影時に位置情報を記録します。

GPSの測位状況



位置情報を記録しないときは

[MENU] → [Setup] → [General Settings]の[GPS Setting]を[Off]にする。

ご注意

- 測位中になるまで数分かかることがあります。
- 電波が受信できるように、屋外の開けた場所でご使用ください。

テレビにつないで見る

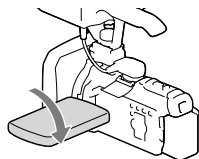
テレビによって、使うケーブルやテレビに映る画質が異なります。

位置情報が受信できないときは

再度測位を促す画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

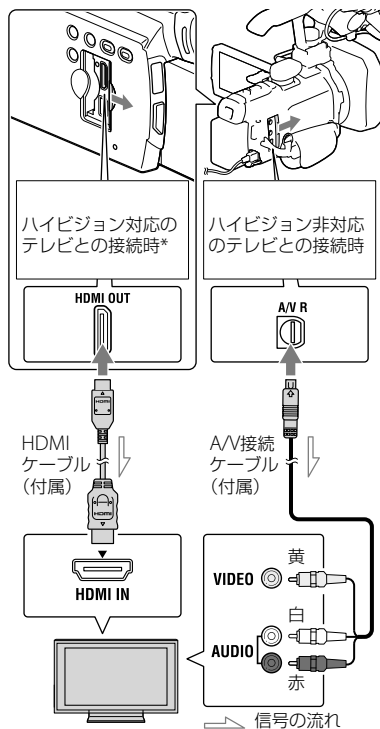
電波を受信するポイント

- 屋外の広い場所で使う。
電波が届かない場所や状況の例については、103ページをご覧ください。
- GPSアンテナ部(6ページ)を空に向ける。また、手でおおわない。



ご注意

- 次のときは、最大で数百メートルの測位の誤差を生じる場合があります。
 - 周囲の建物などで反射したGPSの電波を受信したとき
 - 受信したGPSの電波が弱いとき




* HDMI入力端子が無いテレビの場合、A/V接続ケーブルをご使用ください。

便利な機能を使う

- 1 テレビの入力設定を切り換える。
- 2 本機をテレビにつなぐ。
- 3 本機で動画、静止画を再生する(28ページ)。

ご注意

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントからとってください(16ページ)。
- 標準画質(STD)で記録した動画はハイビジョンテレビでも標準画質で再生されます。
- 標準画質(STD)で記録して、ワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に  [Wide Mode] を [4:3] にしてください。
- 複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、HDMI出力が優先されます。
- 本機はS映像の出力に対応していません。
- 本機はプラビアリンクに対応していません。

HDMIケーブルについて

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 本機側はHDMIミニコネクタ、テレビ側はテレビの端子にあったプラグのHDMIケーブルをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、本機のHDMI OUT端子から出力できません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。
- HDMI (High Definition Multimedia Interface) とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

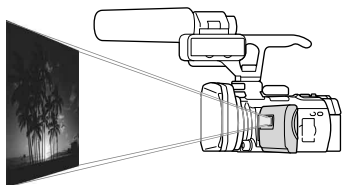
ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに 入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。



- テレビの縦横比に合わせるには：[TV Type] (82ページ)。

プロジェクターで見る

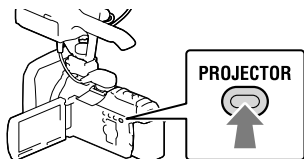
壁などをスクリーンの代わりにして手軽に上映できます。



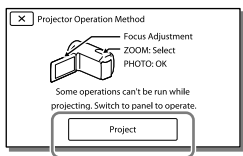
ご注意

- 投影中は液晶モニターが消灯します。ズームレバー / FIXED SHOT/PHOTOボタンまたは、ワイヤレスリモコンで本機を操作してください。

1 本機を壁などに向けてから、PROJECTORボタンを押す。



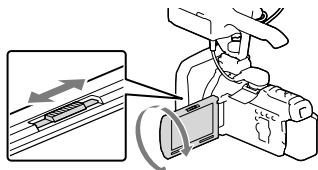
2 液晶モニターで[Project]を選ぶ。



- この画面は本機の電源を入れて最初のプロジェクター使用時に表示されます。

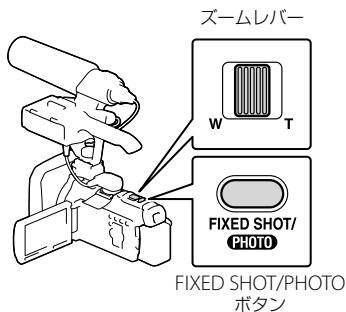
3 PROJECTOR FOCUSレバーで投影画像のピントを合わせる。

PROJECTOR FOCUSレバー



- 本機と壁の距離を離すと、投影画面が大きくなります。
- 本機と投影画面との推奨距離は、約0.5m以上です。

4 ズームレバーとFIXED SHOT/PHOTOボタンで見たい画像を選ぶ。



- ズームレバーで選択枠を移動させて、FIXED SHOT/PHOTOボタンで決定します。
- 再生方法は28ページをご覧ください。
- ワイヤレスリモコンのときは◀/▶/▲/▼で選択枠を移動させて、決定ボタンで決定します。
- プロジェクターを終了するには、PROJECTORボタンを押します。

ご注意

- プロジェクター使用中は次のことにご注意ください。
 - 目に向けて投影しないでください。
 - 発光部を触らないでください。
 - 液晶モニター部とプロジェクターレンズ部が熱くなります。
 - バッテリーの使用可能時間が短くなります。ACアダプターのご使用をおすすめします。
- プロジェクター使用中は次のことができません。
 - 液晶画面を閉じての使用
 - その他の一部の機能

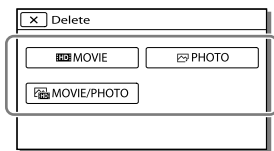
本機で編集する

ご注意

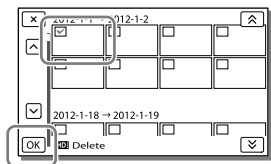
- いったん削除した画像は元に戻せません。大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください。
- 削除、分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- メモリーカードに記録した画像の削除、分割中はメモリーカードを抜かないでください。

削除する

- 1 **MENU** → **[Edit/Copy]** → **[Delete]** を選ぶ。
- 2 **[Multiple Images]** を選び、**削除する画像の種類** を選ぶ。

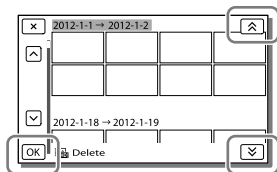


- 3 削除したい画像に **✓** (チェックマーク) を付け、**OK** を選ぶ。



日付ごとにまとめて削除するには

- 1 手順2で **[All In Event]** を選ぶ。
- 2 **△/▽** で削除したい日付を選び、**OK** を選ぶ。



不要な場面を削除するには

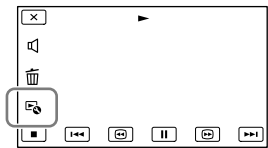
動画を分割してから、削除します。



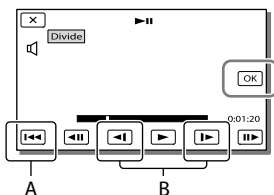
- プロテクトの解除 : **[Protect]** (80ページ)
- **[Format]** (77ページ)

動画を分割する

- 1 動画再生画面で **分割** → **[Divide]** を選ぶ。



2 ▶/⏸で分割したい位置を決め、OKを選ぶ。



- A : 選んだ動画の先頭に戻る
B : 微調整する

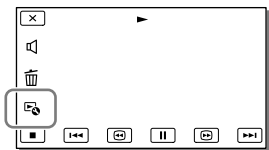
ご注意

- 約0.5秒ごとに分割点を検出するため、決定した分割点と実際の分割点が若干ずれる場合があります。
- 本機では、簡易的な編集ができます。さらに編集する場合には、市販のソフトウェアをお使いください。

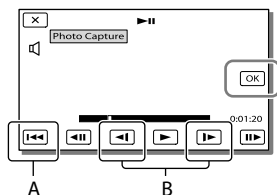
動画から静止画を切り出す

内蔵メモリーに保存されている動画から、静止画を切り出すことができます。

1 動画再生画面で→[Photo Capture]を選ぶ。



2 ▶/⏸で静止画にしたい場面を決め、OKを選ぶ。



- A : 選んだ動画の先頭に戻る
B : 微調整する

静止画の画像サイズは次の通りになります。

- ハイビジョン画質(HD)のときは[2.1M] (16 : 9)
- 標準画質(STD)でワイド(16 : 9)のときは[0.2M] (16 : 9)
- 標準画質(STD)で4 : 3のときは[VGA (0.3M)] (4 : 3)

撮影日時について

- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

他機を使って保存する

ダビングガイド

ハイビジョン画質(HD)で撮影した動画の保存のしかたを選びましょう。

他機	使うケーブル	ページ
 <p>ソニー製ブルーレイディスクレコーダー ハイビジョン画質(HD)でブルーレイディスクレコーダーや、ディスクに保存。</p>	ビルトインUSBケーブル/ USB接続サポートケーブル(付属)*	51
 <p>HDDレコーダーなど 標準画質(STD)でDVDに保存。</p>	A/V接続ケーブル(付属)	52
 <p>外付けメディア ハイビジョン画質(HD)で保存。</p>	USBアダプターケーブル VMC-UAM1(付属)	53

* ビルトインUSBケーブルが短いときに使います。

標準画質(STD)で撮影した動画のときは

A/V接続ケーブルを使って、保存する機器と接続してください(52ページ)。

ご注意

- [HD: Rec Format]で、PS または FX の録画モードに設定して撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます。

ディスクを再生する

ブルーレイディスクのときは

ソニー製ブルーレイディスクプレーヤーや、プレイステーション3などのブルーレイディスク再生機器で、再生できます。

ハイビジョン画質(HD)を保存したDVDのときは

ソニー製のブルーレイディスクプレーヤーや、プレイステーション3などのAVCHD規格対応の再生機器で、再生できます。

標準画質(STD)を保存したDVDのときは

DVDプレーヤーなどの一般的なDVD再生機器で、再生できます。

ご注意

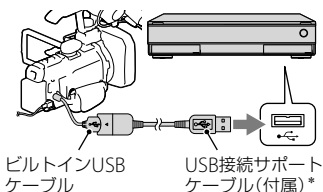
- ハイビジョン画質(HD)で記録したDVDは、AVCHD規格に対応した機器で再生してください。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)を記録したDVDを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなる場合があります。
- 「プレイステーション3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jp.playstation.com/ps3/update/>

ブルーレイディスクレコーダーで保存する

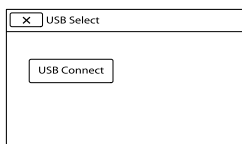
ソニー製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにダビングしたり、ディスクを作成したりできます。

- 1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(14ページ)。
- 2 本機の電源を入れ、本機とブルーレイディスクレコーダーをUSBケーブルでつなぐ。

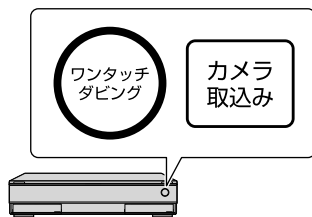


* ビルトインUSBケーブルが短いときに使います。

- 3 本機の画面で[USB Connect]を選ぶ。



- 4 ブルーレイディスクレコーダーの「カメラ取込み」ボタンまたは「ワンタッチダビング」ボタンを押す。



カメラ取り込みがされていない画像が取り込まれます。

- 終了するには、本機の画面で X → [OK] を選びます。

ご注意

- [1080/60p **PS**]で撮影した動画を保存するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。
- ディスクに保存する方法については、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーによってボタンの有無、操作方法や使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーにUSB端子がないときは、A/V接続ケーブルで接続してください(52ページ)。
- この操作では、ハイビジョン画質(HD)の動画のみ取り込めます。
- [1080/60p **PS**]で撮影した動画はブルーレイディスクレコーダーのハードディスクに保存してからディスクを作成してください。詳しくはブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

レコーダーで保存する

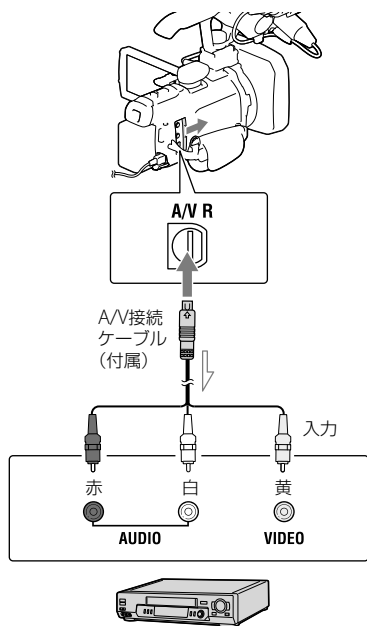
レコーダーなどで標準画質 (STD)のディスクを作る

本機をディスクレコーダーにA/V接続ケーブルでつなぎます。本機の画像を他のディスクやビデオカセットへコピーできます。

1 録画機器に記録用ディスクなどをセットする。

- 入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。

2 本機と録画機器をA/V接続ケーブルでつなぐ。



→ 信号の流れ

- 接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、録画機器で録画を始める。

4 ダビングが終わったら、録画機器と本機を停止する。

ご注意

- ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつないでください(14ページ)。
- 相手機器の取扱説明書もご覧ください。
- HDMIケーブルを使ってダビングはできません。
- アナログダビングのため、画質が劣化する場合があります。
- ハイビジョン画質(HD)で記録された画像は、標準画質(STD)でコピーされます。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつないでください。



- 日時などをダビング：[Data Code] (81ページ)
- 横縦比4：3でダビング：[TV Type] (82ページ)

外付けメディアに保存する

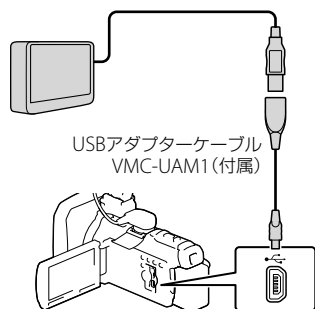
外付けハードディスクなどのメディアに動画・静止画を保存します。保存後は次のことができます。

- 外付けメディアと本機をつないで画像を再生(53ページ)
- 外付けメディアとパソコンをつないで付属のソフトウェア「Content Management Utility」で取り込み(57ページ)

ご注意

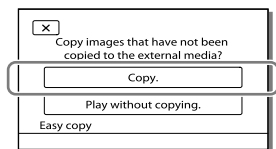
- この操作にはUSBアダプターケーブルVMC-UAM1(付属)が必要です。
- ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつないでください。
- 相手機器の取扱説明書をご覧ください。


1 USBアダプターケーブル(別売)で本機と外付けメディアをつなぐ。



- [Preparing image database file. Please wait.]が表示されている間はUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機に[Repair Img. DB F.]画面が表示されたら、[OK]をタッチします。


2 本機の画面で[Copy.]を選ぶ。

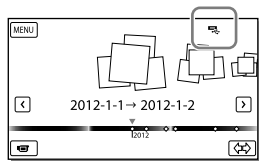


- [Media Select]で設定されている記録メディアに記録した画像のうち、外付けメディアに保存されていない画像が保存されます。
- 本機に新たに記録した画像がない場合は選択画面が表示されません。
- 接続を終了するには、イベントビューまたはイベントインデックス画面でを選びます。


外付けメディアの画像を再生するには

手順2で[Play without copying.]を選び、見たい画像を選んで再生する。

- 本機とテレビをつなぐと大画面で楽しめます(43ページ)。
- 外付けメディアと接続中は、イベントビューにが表示されます。



外付けメディアの画像を削除するには

- 1 手順2で[Play without copying.]を選ぶ。
- 2  → [Edit/Copy] → [Delete]を選び、画面の指示に従って削除する。

好みの画像を外付けメディアにコピーするには

- 手順2で[Play without copying.]を選ぶ。
- [MENU] → [Edit/Copy] → [Copy]を選び、画面の指示に従ってコピーする。
 - 保存されていない画像を接続中にコピーするには、[MENU] → [Edit/Copy] → [Direct Copy]を選びます。

ご注意

- 次の機器は外付けメディアとして使えません。
 - 容量が2TBを超える外付けメディア
 - 一般のDVDドライブやCDドライブなどのディスクドライブ
 - ハブを経由してつないでいる外付けメディア
 - 内部にハブを構成している外付けメディア
 - カードリーダー
 - 暗号機能のある外付けメディアは、使えない場合があります。
 - ファイルシステムとしてFATを採用しています。NTFSなど他機でフォーマットされた外付けメディアの場合は、本機でフォーマットしてからお使いください。フォーマット画面は接続時に表示されます。また、FATのメディアでもフォーマット画面が表示されることがあります。接続する機器に大切なデータが残っていないことを確認したうえでフォーマットを行ってください。
 - 動作条件に該当するすべての機器の動作を保証するものではありません。
 - 外付けメディアに保存可能なシーン数の目安は次のとおりです。外付けメディアに空き容量があっても、これを超えて保存することはできません。
 - ハイビジョン画質(HD)の動画：最大3,999個
 - 標準画質(STD)の動画：最大9,999個
 - 静止画：最大40,000枚
 - 撮影された画像によっては、保存可能なシーン数が減ることがあります。
- 本機が外付けメディアを認識しないときは、次の操作を行ってください。
 - USBアダプターケーブルを差し直す
 - 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ
 - 外付けメディアから本機にコピーすることはできません。

パソコンを使って保存する

パソコンの準備をする (Windows)

「Content Management Utility」を使うと次の操作ができます。

- パソコンへの画像の取り込み
- 取り込んだ画像の閲覧
- フラッシュバンドの検出/補正

パソコンで動画を保存するには、あらかじめ付属のCD-ROM「Content Management Utility」からインストールします。

画像の編集や、ディスク作成などを行う場合は、市販のソフトウェアをお買い求めください。

準備1 パソコン環境を確かめる

OS*1
Microsoft Windows XP SP3*2/ Windows Vista SP2/Windows 7 SP1
CPU
ハイビジョン画質 (HD)のうち、最高画質モードで録画した動画を再生するには、Intel Core 2 Duo 2.80GHz相当以上のCPUをお使いください。 ハイビジョン画質 (HD)のうち、最高画質以外のモードで録画した動画については、この性能以下のCPUでも再生が可能な場合があります。また、ビデオカードの性能によっては、この性能以下のCPUでも、最高画質モードで録画したハイビジョン画質 (HD)の動画を再生できる場合があります。 以下の場合、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。 - 動画のコンピューターへの取り込み - 標準画質 (STD)の動画のみを扱う場合
メモリー
Windows XP : 512MB以上(1GB以上を推奨) Windows Vista/Windows 7 : 1GB以上

ハードディスク

インストールに必要なディスク容量：
約100MB
取り込み先に指定、閲覧登録できるファイルシステムは、NTFSまたはexFATのみです。

ディスプレイ

解像度1,024×768ドット以上

その他

USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠))
(インストールにはCD-ROMドライブが必要)

- *1 工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- *2 64bit版は除きます。

ご注意

- すべてのパソコン環境について動作を保証するものではありません。
- 付属のソフトウェア「Content Management Utility」はMacに対応していません。

準備2 ソフトウェア「Content Management Utility」をインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「Content Management Utility」をインストールします。

1 パソコンに本機をつないでいないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限・コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM「Content Management Utility」(付属)をセットする。

インストール画面が表示されます。

- インストール画面が表示されないときは、[スタート]→[コンピュータ](Windows XPの場合は[マイ コンピュータ])をクリックし、[SONYCMU(E)](CD-ROM)をダブルクリックしてください。

4 アプリケーションをインストールする言語を選んで、[OK]をクリックする。

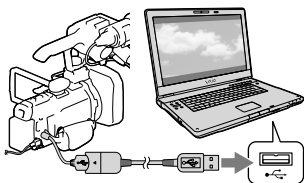
5 インストールウィザード画面が表示されたら[次へ]をクリックする。

6 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[OK]をクリックする。

7 インストール先を選択して[次へ]をクリックする。

8 デスクトップショートカットの作成を選択して[次へ]をクリックする。

9 本機の電源を入れ、USBケーブルで本機とパソコンをつなぐ。



10 本機の画面で[USB Connect]をタッチする。

- [USB Select]画面が表示されないときは、[MENU]→[Setup]→[USB Connection]→[USB Connect]をタッチする。

11 [次へ]をクリックする。

12 パソコンの画面に従ってインストールする。


- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、手順8の選択によってデスクトップにアイコンが表示されます。



13 パソコンからCD-ROMを取り出す。

本機とパソコンの接続を終了するには

- ① パソコンのデスクトップ右下で、アイコン → [USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックする。



- ② 本機の画面で → [Yes]をタッチする。
- ③ USBケーブルを取り外す。

本機で記録した画像をパソコンで扱う方法は

付属のCD-ROM「Content Management Utility」収録のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 長時間撮影した画像や編集した画像を取り込む場合は、付属の「Content Management Utility」を使ってください。それ以外のソフトを使うと正しく取り込めない場合があります。
- 長い時間撮影を行い動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されています。その為、録画後の記録メディア内を直接パソコンで見ると、複数のファイルに分割されて見える場合があります。
- 付属の「Content Management Utility」を使わずに取り込みをおこなうと、撮影中に2GBを超えて自動的に生成されたファイルがうまく連結できない場合があります。他の編集ソフトをご利用の場合でも、パソコンへの取り込みには、付属のソフトウェア「Content Management Utility」をお使いください。ファイルは連結されてパソコンに取込まれません。

メニューを設定する

本機のメニューは大きく6つのカテゴリーに分類されており、その下にさまざまなメニュー項目があります。

田 Shooting Mode(撮影の種類に関する設定) → 64ページ

📷 Camera/Audio(好みの撮影をするときの設定) → 65ページ

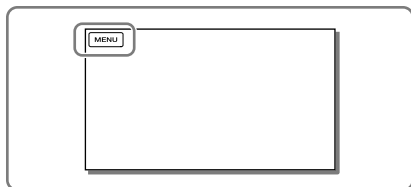
📀 Rec/Media SET(画質や記録メディアに関する設定) → 76ページ

📅 TC/UB(タイムコードやユーザービットの設定) → 78ページ

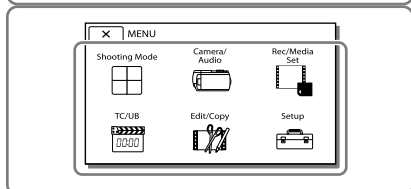
✂ Edit/Copy(コピー・プロテクトなどの編集に関する設定) → 80ページ

🔧 Setup(その他のいろいろな設定) → 81ページ

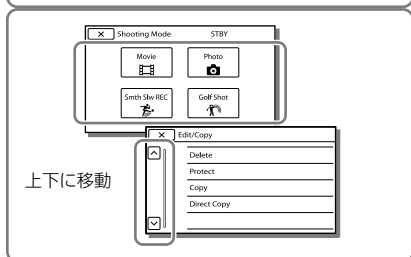
1 **MENU**を選ぶ。



2 カテゴリーを選ぶ。



3 設定したいメニュー項目を選ぶ。

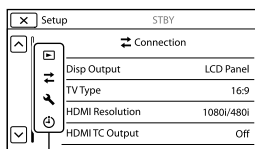


ご注意

- メニューを終了する、または前のメニューに戻るには **X** を選びます。

すばやくメニューを選ぶには

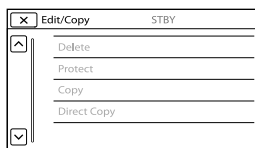
[Camera/Audio] [Setup]のメニューにはサブカテゴリーがあります。サブカテゴリーアイコンを選ぶとお好みのメニューをすばやく選ぶことができます。



サブカテゴリーアイコン

メニューが設定できないときは

お使いの状況によって設定できないメニューがあります。灰色で表示されているメニューを選ぶと、設定できない理由が表示されます。



メニュー一覧

田 Shooting Mode

Movie	動画を撮影する。	64
Photo	静止画を撮影する。	64
Smth Slw Rec	なめらかなスローモーション映像を撮影する。	64
Golf Shot	2秒間の高速な動作を分割し、動画、静止画として記録する。	64

カメラ/Audio

Manual Settings






White Balance	撮影する場面に合わせて色合いを調節する。	65
Spot Meter/Fcs	被写体に合わせて明るさとピントを同時に合わせる。	66
Spot Meter	被写体が最適な明るさで映るように調節する。	66
Spot Focus	画面中央から外れた被写体を基準にしてピントを合わせる。	66
Exposure	画像の明るさを手動で設定する。	66
Focus	ピントを手動で設定する。	67
IRIS	絞りを設定する。	67
Shutter Speed	シャッタースピードを設定する。	38
AGC Limit	暗い場所を暗いままで撮影できるようにAGC (オートゲインコントロール)の上限値を設定する。	68
AE Shift	露出を手動で設定する。	68
White Balance Shift	ホワイトバランスを手動で設定する。	68
Low Lux	薄暗い場所で明るくカラーで撮影する。	68

Camera Settings

Scene Selection	夜景や海岸など場面に合った設定を選択する。	68
■ Cinematone	画質を調整して映画のような雰囲気撮影する。	69
■ Fader	フェードイン、フェードアウト効果を加える。	69
📷 Self-Timer	セルフタイマーを使う。	70
Tele Macro	背景をぼかして、被写体をより際立たせる。	70
■ SteadyShot	動画撮影時の手ブレ補正を設定する。	34
📷 SteadyShot	静止画撮影時の手ブレ補正を設定する。	70
FIXED SHOT/PHOTO	FIXED SHOT/PHOTOボタンに機能を割り当てる。	34
Digital Zoom	デジタルズームを設定する。	70
Conversion Lens	コンバージョンレンズ(別売)を使うときに設定する。	71
Auto Back Light	自動で逆光補正をする。	71

Dial Setting	MANUAL(マニュアル)ダイヤルに機能を割り当てる	38
NIGHTSHOT Light	NightShot撮影時に、より鮮明な画像を記録する。	71
Color Bar	カラーバーを表示する。	71
Color Bar Tone	音声トーン信号を出力する。	72
Face		
Face Detection	人物の顔を検出する。	72
Smile Shutter	笑顔を検出すると自動で静止画を撮影する。	72
Smile Sensitivity	自動撮影する笑顔の検出感度を設定する。	72
Flash		
Flash	フラッシュの発光の方法を設定する。	72
Flash Level	フラッシュの発光量を調節する。	73
Red Eye Reduction	フラッシュ発光するときに予備発光し、目が赤く光るのを抑制する。	73
Audio		
[HD] Audio Format	記録音声フォーマットを切り換える。	73
Blt-in Zoom Mic	ズームに連動して音声を記録する。	73
Int. Mic. Wind NR	内蔵マイクの風音低減を設定する。	74
Micref Level	録音レベルを設定する。	74
Audio Output Timing	撮影時のエコー対策を設定する。	74
Volume	再生時の音量、撮影時のヘッドホン音量を調節する。	74
Shooting Assist		
My Button	マイボタンを登録する。	74
Expanded Focus	マニュアルフォーカス時に画面の中央を約2倍に拡大する。	74
Guide Frame	水平/垂直の目安になる枠を表示する。	75
Zebra	明るさ調節のために輝度レベルを表示する。	75
Peaking	ピント合わせのために輪郭を強調する。	75
Light Bright	ビデオライトの明るさを設定する。	75
Audio Level Display	音声レベルを表示する。	76

Rec/Media SET

 Setting	記録する動画の画質をハイビジョン(HD)/標準(STD)から設定する。	76
Media Select	記録メディアを選ぶ。	21
 Rec Format	ハイビジョン画質(HD)の録画フォーマットを選ぶ。	36
 Wide Mode	標準画質(STD)で撮影する動画の縦横比を設定する。	76
 x.v.Color	x.v.Colorに対応したテレビで見るときに設定する。	77
 Image Size	静止画の画像サイズを設定する。	37
Media Info	記録メディアの情報を表示する。	77
Format	記録メディアをフォーマットする。	77
Repair Img. DB F.	管理ファイルを修復する。	95
File Number	静止画のファイル番号のつけかたを選ぶ。	78

TC/UB

TC/UB Disp	タイムコード、またはユーザービットの表示を切り換える。	78
TC Preset	タイムコードを設定する。	78
UB Preset	ユーザービットを設定する。	78
TC Format	タイムコードの記録方式を選ぶ。	79
TC Run	タイムコードの歩進を選ぶ。	79
TC Make	記録メディアへのタイムコードの記録方法などを選ぶ。	79
UB Time Rec	時刻をユーザービットにするかを選ぶ。	79

Edit/Copy

Delete	画像を削除する。	47
Protect	誤消去防止のため、画像をプロテクトする。	80
Copy	画像をコピーする。	80
Direct Copy	外付けメディアに画像をコピーする。	81

Setup

Playback Settings

Data Code	撮影時に自動的に記録された情報を表示する。	81
-----------	-----------------------	----

Connection

Disp Output	タイムコードなどの画面表示の出力先を設定する。	82
TV Type	テレビの端子に合わせて設定を変える。	82
HDMI Resolution	HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選ぶ。	83
HDMI TC Output	HDMI接続した他機にタイムコード、ユーザービットデータを伝送する。	83
USB Connect	USBケーブルで接続する。	83

General Settings

Beep	操作音を出す。	83
LCD Brightness	液晶画面の明るさを調節する。	83
Display Setting	液晶画面に画面表示が表示される時間を設定する。	83
GPS information	測位情報画表示される。	84
GPS Setting	GPSを設定する。	84
REC Lamp	本体前面の録画ランプを消す。	84
Remote Ctrl	付属のワイヤレスリモコンを使えなくする。	84
Language Setting	画面表示の言語を選ぶ。	84
Calibration	タッチパネルを調整する。	109
Battery Info	バッテリー残量の目安を表示する。	85

Clock Settings

Date & Time Setting	日時を設定する。	
Date & Time Format	年-月-日の表示順を選ぶ。	85
Summer Time	サマータイムの設定をする。	85
Date & Time	日時を設定する。	17
Area Setting	エリアを設定する。	85
Auto Clock ADJ	自動で時刻を補正する。	85
Auto Area ADJ	GPSから現在地情報を取得して自動で時刻を補正する。	85

Shooting Mode

(撮影の種類に関する設定)

メニューの操作方法は58ページをご覧ください。

Movie (動画)

動画を撮影するモードにします。

Photo (静止画)

静止画を撮影するモードにします。

Smth Slw REC (なめらかスロー録画)

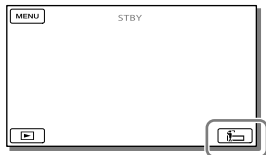
約3秒間の高速な動作や現象を約12秒間のスローモーション映像として撮影します。

[Smth Slw REC]を選択してからSTART/STOPボタンを押してください。

[Recording...]が消えると撮影が完了します。

撮影を開始するタイミングを変更するには

撮影を開始する前に [3sec After] / [3sec Before] を選ぶ。



- [3sec After] (お買い上げ時の設定)
START/STOPボタンを押してからの約3秒間を撮影します。
- [3sec Before]
START/STOPボタンを押すまでの約3秒間を撮影します。

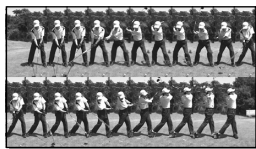
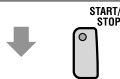
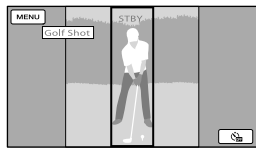
ご注意

- 音声は記録できません。
- 画質は通常撮影時より劣化します。
- [HD] Rec Format]は[1080/60i HQ]になります。

Golf Shot (ゴルフショット)

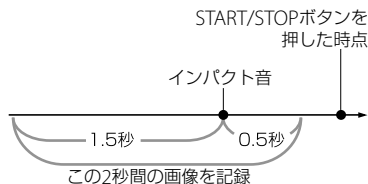
2秒間の高速な動作を分割して、動画・静止画として記録します。再生すると、一連の動作が表示されるので、ゴルフやテニスのフォームを確認するときに便利です。

[Golf Shot]画面で、被写体を画面中央の白いガイドフレーム内におさめてスイング直後にSTART/STOPボタンを押す。



記録されるタイミングについて

START/STOPボタンを押した時点から、過去一秒間で一番音量が大きい瞬間をインパクト音として検出します。インパクト音を基準に記録される区間が自動的に調整されます。



セルフタイマーで自分のフォームを撮るには

[] / [] → [On] を選ぶ。

START/STOPボタンを押した後にカウントダウンが始まります。カウントが0になった時点をインパクトの瞬間とし、その前後の動作を記録します。

ご注意

- 本機がインパクト音を検出できなかったときは、START/STOPボタンを押す前の約0.5秒の時点をインパクトの瞬間とみなし、その前1.5秒と後0.5秒の合計2秒間の動作を記録します。
- 静止画の画像サイズは1,920×1,080になります。
- 音声は記録できません。
- 画質は通常撮影時より劣化します。
- [] Rec Format]は[1080/60i]になります。
- 外部マイクやXLRアダプターを取り付けている場合も、インパクト音は内蔵マイクを使って検出されます。
- 記録中に背景に動くものがある場合は画像解析がうまくいかずに、ノイズの多い画像になることがあります。三脚などを使って安定した状態で撮影することをおすすめします。

Camera/ Audio (好みの撮影をするときの 設定)

メニューの操作方法は58ページをご覧ください。

▶はお買い上げ時の設定です。

White Balance (ホワイト バランス)

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。



▶ (Auto)

自動調整される。
バッテリーの交換時や屋内外の移動時に10秒ほど白っぽい被写体を映すと、より良い色合いになる。

☀ (Outdoor)

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

☁ (Indoor)

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋内
- パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場合
- スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

☑️ (One Push)

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

- ① [☑️] を選ぶ。
 - ② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映し続ける。
 - ③ [☑️^{SET}] を選ぶ。
- 設定中に屋内外を行き来するなどして照明条件が変わる場合は、One Pushを再設定する。

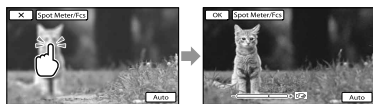
ご注意

- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[Auto] に設定するか [One Push] の手順で色合いを調節してください。
- 動画撮影中は、☑️ (One Push) は設定できません。
- [White Balance] を設定すると [Scene Selection] が [Auto] になります。

Spot Meter/Fcs (Spot測光フォーカス)



タッチした被写体に明るさとピントが自動調整されます。



明るさとピントを合わせたい被写体にタッチする。
自動調整に戻すには、[Auto] をタッチする。

ご注意

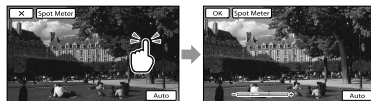
- [Exposure] と [Focus] は、自動的に [Manual] になります。

Spot Meter (スポット測光)



タッチした被写体に明るさが自動調整されます。

舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。



明るさを合わせたい被写体にタッチする。
自動調整に戻すには、[Auto] をタッチする。

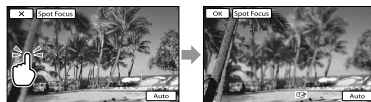
ご注意

- [Exposure] は自動的に [Manual] になります。

Spot Focus (スポットフォーカス)



タッチした被写体にピントが自動調整されます。



ピントを合わせたい被写体にタッチする。
自動ピント合わせに戻すには、[Auto] をタッチする。

ご注意

- [Focus] が自動的に [Manual] になります。

Exposure (カメラ明るさ)



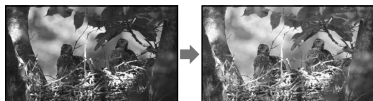
画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり、暗すぎたりするときなどに調節します。

▶ Auto

自動で明るさが調整される。

Manual

白い被写体や逆光のときは[+]、黒い被写体や暗い場所のときは[-]を選んで調節する。



Focus (フォーカス)



手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

▶ Auto

自動でピントが調整される。

Manual

近くにピントを合わせるときは[+/-]、遠くにピントを合わせるときは[-/+]を選んで調節する。それ以上近く/遠くにピントが合わせられないときはそれぞれ▲/▼が表示される。




ピントを合わせるには

はじめにズームをT側(望遠)にしてピントを合わせてから、W側(広角)に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

フォーカス距離情報について

設定を[Manual]にしたときやフォーカスを手動で調節したときに、フォーカス距離情報を数秒間表示します。暗くてフォーカスが合わせにくいときなど、目安としてピントが合う距離を確認できます。(コンバージョンレンズをつけているときは正しく表示されません。)

ご注意

- Manualに設定すると、が表示されます。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

IRIS (絞り)



絞り優先で撮影します。絞りを調節することで、背景をぼかして被写体をより引き立てたり、逆に背景にもピントがあった撮影ができます。

▶ Auto

自動で調節される。

Manual

絞り値を大きくするときは[+]、絞り値を小さくするときは[-]を選んで調節する。

Shutter Speed (シャッタースピード)



シャッタースピード優先で撮影します。シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体などを撮影するときなどに一瞬を切り出すことができ、遅くすると、水の流れなどを動きのある表現でとらえることができます。

▶ Auto

自動で調節される。

Manual

シャッタースピードを速くするときは **[+]**、遅くするときは **[-]** を選んで調節する。

AGC Limit (AGCリミット)

AGC(オートゲインコントロール)の上限値を設定し、暗い場所を暗いままで撮影できます。

▶ Off

ゲインが自動制御される。

24dB/21dB/18dB/15dB/12dB/
9dB/6dB/3dB/0dB(AGC \uparrow)

設定した値をゲインの上限値として自動制御される。

ご注意

- 撮影モードによって、設定可能な上限値は次のとおり変わります。
 - 動画のとき：24dB
 - 静止画のとき：21dB
 - [Smth Slw REC]のとき：15dB
- ゲインが高くなるほど、暗い場所でも適正な明るさにできますが、ノイズが増加します。ゲインが低いほど、ノイズは少なくなります。明るさを補うため、シャッタースピードが遅くなり手ブレや被写体ブレが起こりやすくなります。

AE Shift (AEシフト)

露出をお好みに合わせて調節できます。

▶ Off

自動で調節される。

On(EVと設定した数値)

白い被写体や逆光のときは **[+]**、被写体が暗い場合や暗い場所のときは **[-]** を選んで調節する。

White Balance Shift (ホワイトバランスシフト)

ホワイトバランスをお好みに合わせて調節できます。

▶ Off

自動で調節される。

On(WBと設定した数値)

画像が青みがかったときは **[+]**、赤みがかったときは **[-]** を選んで調節する。

Low Lux

薄暗いところで明るくカラーで撮影できます。

▶ Off

Low Lux機能を使わない。

On()

Low Lux機能を使う。

Scene Selection (シーンセレクション)

シーンを選んで撮影します。

▶ (Auto)

画質を自動的に調整する。

☾(Night Scene)*1

三脚(別売)を使用して、夜景をきれいに撮影できる。



👤(Night Portrait)

静止画撮影時にフラッシュを使い、人物と背景を撮影する。





(Sunrise&Sunset)

*1

日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。



☀(Fireworks)*1

打ち上げ花火をきれいに撮影する。



🏞(Landscape)*1

遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。



👤(Portrait)

背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。



🎯(Spotlight)*2

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。



🌊(Beach)*2

海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。



❄(Snow)*2

グレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。



*1 遠景のみにピントが合うように設定されます。

*2 近くのものにピントが合わないよう設定されます。

ご注意

- [Night Portrait]に設定していても、 (動画) ランプ点灯時は [Auto] になります。
- [Scene Selection]を設定すると、[White Balance]、[IRIS]、[Shutter Speed]の設定が解除されます。

Cinematone (シネマトーン)



画質を調整して映画のような雰囲気での動画の撮影ができます。

▶ Off

シネマトーン機能を無効にする。

On

シネマトーン機能を有効にする。

ご注意

- 切り換え時には、一時的に映像が停止します。

Fader (フェーダー)



場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

スタンバイ中(フェードイン)、または撮影中(フェードアウト)に以下の操作を行います。

▶ Off

効果を使わない。

White Fader()

フェードイン/アウトで効果を使う(白)。

アウト

イン



Black Fader()

フェードイン/アウトで効果を使う(黒)。[Black Fader]で撮影した画像は、インデックス画面で見えにくいことがある。

アウト

イン



ご注意

- 一度START/STOPボタンを押すと設定は解除されます。

Self-Timer (セルフタイマー)

FIXED SHOT/PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。

▶ Off

セルフタイマーを解除する。

On(☺)

セルフタイマーで撮影する。撮影を中止するには[Reset]を選ぶ。

Tele Macro (テレマクロ)

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。

▶ Off

近接撮影を解除する。(または、ズームを広角(W側)にすると解除される。)

On(🔍)

ズーム(27ページ)が自動で望遠(T側)になり、32 cmまでの近接撮影ができる。



ご注意

- 被写体が遠いときにはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([Focus]、67ページ)。

SteadyShot (手ブレ補正)

34ページをご覧ください。

SteadyShot (手ブレ補正)

手ブレを補正して撮影できます。三脚(別売)を利用するときは、[Off] (🔊) にすると自然な画像になります。

▶ On

手ブレ補正機能を使う。

Off(🔊)

手ブレ補正機能を使わない。

FIXED SHOT/PHOTO

FIXED SHOT/PHOTOボタン(23ページ)に割り当てる機能を設定します。
📹(動画)ランプ点灯時のみ有効です。

▶ FIXED SHOT

通常より強く手ブレを防ぐ。

PHOTO

静止画を撮影する。

Digital Zoom (デジタルズーム)

デジタルズームの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。



[120×]を選ぶと表示されます。

▶ Off

デジタルズームを使わない。

120×

最大120倍までのデジタルズーム

Conversion Lens (コンバージョンレンズ)

本機に対応しているコンバージョンレンズ(別売)を使用する場合に設定します。コンバージョンレンズに合わせて、手ブレ補正とフォーカスが最適化されます。

▶ Off

コンバージョンレンズを使わない。

Wide Conversion(ワイド)

ワイドコンバージョンレンズを使う。

Tele Conversion(テレ)

テレコンバージョンレンズを使う。

ご注意

- [Wide Conversion]に設定すると、手ブレ補正は解除されます。

Auto Back Light (自動逆光補正)

自動で逆光補正をします。

▶ On

自動で逆光補正を行う。

Off

逆光補正を行わない。

Dial Setting (ダイヤル設定)

38ページをご覧ください。

NIGHTSHOT Light (NIGHTSHOT ライト)

NightShot(34ページ)撮影時に赤外線を発光するライトで、よりはっきりとした画像を記録できます。

▶ On

赤外線ライトを発光する。

Off

発光しない。

ご注意

- 赤外線発光部(34ページ)を指などで覆わないでください。
- レンズフードやステップダウンリング(付属)は、赤外線発光の妨げとなるため、取り外してください。
- コンバージョンレンズ(別売)は外してください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

Color Bar (カラーバー)

動画撮影モードでカラーバーを表示したり、記録したりすることができます。本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。

▶ Off

表示しない。

On

カラーバーを表示する。

ご注意

- 静止画撮影/再生モードに切り換えたり、電源を切ったりすると、自動的に[Off](お買い上げ時の設定)に戻ります。
- 録画中、拡大フォーカス中は[Color Bar]の設定を変更できません。

Color Bar Tone (カラーバートーン)



[Color Bar]を[On]に設定して、[Color Bar Tone]を[On]に設定すると、音声トーン信号(1kHz：フルビット -20dB)を出力します。

▶ Off

出力しない。

On

音声トーン信号を出力する。

Face Detection (顔検出)



優先する人物の設定を選びます。選んだ人物の顔に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。

▶ Auto

大人、子どもの区別なく、顔を検出する。

Child Priority (👶)

子どもの顔を優先的に検出する。

Adult Priority (👤)

大人の顔を優先的に検出する。

Off (🚫)

顔検出をしない。

顔を検出しやすい状況とは

- 適度に明るい場所
- 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
- 顔をカメラ正面に向ける

ご注意

- 撮影環境によっては正しい効果を得られない場合があります。



- 優先顔キメ機能(32ページ)
- [Smile Shutter](72ページ)

Smile Shutter (スマイルシャッター)



笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影します。

自動で静止画を撮りたくない場合は、[Off]を選択してください。

▶ Dual Capture

動画録画中のみ笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影する。

Always On

静止画撮影可能状態時に笑顔を検出して自動的に静止画を撮影する。

Off (🚫)

笑顔を検出しないため、静止画を自動撮影しない。

ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、笑顔を検出できないことがあります。

Smile Sensitivity (スマイル検出感度)



自動撮影する笑顔の検出感度を設定します。

Big Smile

大笑いで検出する。

▶ Normal Smile

普通の笑顔で検出する。

Slight Smile

ほほ笑み程度で検出する。

Flash (フラッシュ)



フラッシュの発光の方法を設定します。本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応した外付けフラッシュ(別売)を使って静止画を撮影するときを設定します。

▶ Auto

撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発光する。

On(⚡)

周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

Off(🔌)

常に発光しない。

ご注意

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は約0.3m～1.5mです。
- フラッシュ表面の汚れは取り除いてください。光による熱で汚れが変色、貼り付くなどして、フラッシュが十分な光量を発光できなくなることがあります。
- 動画(動画)ランプが点灯中は、フラッシュは発光しません。
- コンバージョンレンズ(別売)を付けてフラッシュ撮影をすると、影が映ることがあります。

Flash Level (フラッシュレベル) ⚡

フラッシュの発光量を調節します。本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応した外付けフラッシュ(別売)を使って静止画を撮影するときに設定します。

High(⚡+)

発光量が増える。

▶ Normal(⚡)

標準の発光量。

Low(⚡-)

発光量が減る。

Red Eye Reduction (赤目軽減) ⚡

フラッシュ発光するときに予備発光し、目が赤く光るのを抑制します。本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応した外付けフラッシュ(別売)を使って静止画を撮影するときに設定します。

▶ Off

赤目軽減しない。

On(👁)

赤目軽減する。

ご注意

- 赤目軽減で撮影しても、効果が表れにくいことがあります。
- [Smile Shutter]で自動撮影するときは予備発光しません。

HD Audio Format (録音フォーマット) 🎵

ハイビジョン画質(HD)時の記録音声フォーマットを切り換えます。

▶ Linear PCM(🎵LPCM)

リニアPCM方式で記録する。

Dolby Digital(🎵DolbyD)

ドルビーデジタル方式で記録する。

ご注意

- 標準画質(STD)の撮影では音声記録は[Dolby Digital]に固定されます。

Blt-in Zoom Mic (内蔵ズームマイク) 🎵

ズームと連動して、臨場感のある音声を記録できます。

▶ Off

ズームと音声を連動しない。

On(🎧)

ズームと音声を連動する。

Int. Mic. Wind NR(内蔵マイク風音低減)

内蔵マイクで記録時に風雑音を低減します。

▶ Off

風音低減を行わない。

On(🔊)

低音域をカットして、風音低減を行う。

Micref Level (マイク基準レベル)

録音時のマイクレベルを選べます。

▶ Normal

周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

Low(🔊)

周囲の音を忠実に録音する。演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは [Low] を選ぶ。(日常の会話の録音などには適していません。)

Audio Output Timing (音声出力タイミング)

撮影時のエコー対策を設定できます。

▶ Live

撮影時に聞こえる周囲の音と、ヘッドホンを通して聞こえる音の差によるエコーを防ぐ。

Lip Sync

撮影時に起こる映像信号の遅延に合わせて音声も遅延させ、違和感を防ぐ。

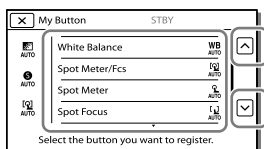
Volume (音量)

[🔊] / [🔊+] を選んで音量を調節できます。

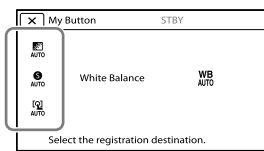
My Button (マイボタン登録)

撮影時によく使う項目をマイボタンに登録できます。

- ① [My Button] を選択してから、登録したいメニューを [▲] / [▼] で選ぶ。



- ② カスタマイズしたいボタンを選ぶ。



- ③ [OK] を選ぶ。

Expanded Focus (拡大フォーカス)

マニュアルフォーカス時に画面の中央が約2倍に拡大されます。ピントが合っているかを確認するとき便利です。

▶ Off

拡大表示をしない。

On

拡大表示をする。

ご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。
- 外部出力される画像は拡大表示されません。

Guide Frame (ガイドフレーム)

フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

フレームは記録されません。

▶ Off

ガイドフレームを表示しない。

On

ガイドフレームを表示する。

**ご注意**

- ガイドフレームの外側の枠は、フルピクセル表示機能のないテレビの表示エリアを表しています。

Zebra (ゼブラ)

画面に映る映像の中で、設定した輝度レベル部分にし模様が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。ゼブラは記録されません。

▶ Off

表示しない。

70(70)

輝度レベルが約70IRE*部分に表示。

100(100)

輝度レベルが約100IRE*部分に表示。

- * IRE(Institute of Radio Engineers)とは、基準レベルを0(%)とし、完全なレベルを100(%)としたときの単位です。

ご注意

- 100IRE以上の部分は白とびすることがあります。

Peaking (ピーキング)

ピントが合っている被写体の輪郭が色を付けて表示されるので、ピントが合わせやすくなります。ピーキングは記録されません。

▶ Off

設定しない。

PEAK (White)

輪郭の色を白くする。

PEAK (Red)

輪郭の色を赤くする。

PEAK (Yellow)

輪郭の色を黄色にする。

ご注意

- 暗いシーンでは、輪郭が検出できない場合があります。

**Light Bright (ビデオライ
ト明るさ)**

ビデオライトの明るさを設定します。

▶ Standard

通常の設定(標準の明るさ)。

Bright

ビデオライトが暗いと感じたときに選ぶ。

Audio Level Display (音声レベル表示)

音声レベルの表示を行うかどうかの設定をします。

▶ On

音声レベル表示を行う。

Off

音声レベル表示を行わない。

Rec/Media SET

(画質や記録メディアに関する設定)

メニューの操作方法は58ページをご覧ください。

▶ はお買い上げ時の設定です。

Setting (HD/STD設定)

動画の画質を変更できます。

▶ HD Quality

ハイビジョン画質で記録する。高精細な映像を楽しめる。

STD Quality

標準画質で記録する。再生機器との互換性にすぐれている。

ご注意

- 再生や編集時には、設定した画質の動画のみが表示されます。

Media Select (メディア切換)

21ページをご覧ください。

Rec Format

36ページをご覧ください。

Wide Mode (ワイド切換)

標準画質(STD)のときに記録する動画の横縦比を変更できます。

▶ 16:9 WIDE

ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3 ()

4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ご注意

- 接続するテレビの横縦比はテレビの取扱説明書をご覧ください。



- [TV Type] (82ページ)

x.v.Color

より広い色域で記録できます。鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを、より忠実に再現することが可能になります。

▶ Off

通常の色域で撮影する。

On (Color)

x.v.Colorに対応したテレビで再生するときは[On]にする。

ご注意

- [On]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。

Image Size (画像サイズ)

37ページをご覧ください。

Media Info (メディア情報)

記録メディアの録画可能時間や使用領域などの目安を確認できます。

ご注意

- 管理ファイル用領域があるため、[Format] (77ページ)を行っても、使用領域の表示は0%にならない場合があります。



- メディア切替 (21ページ)

Format (フォーマット)

フォーマット(初期化)とはメディア内の動画・静止画をすべて削除して、メディアの容量を元に戻すことです。

フォーマットする記録メディアを選択し、**[OK]**を選ぶ。

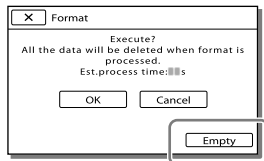
ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(16ページ)。
- 大切な画像は保存してから[Format]してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。
- [Executing...]が表示されているときは以下の操作を行わないでください。
 - 液晶モニターの開閉
 - ボタンの操作
 - メモリーカードを取り出す
 - ACアダプターを外す

内蔵メモリー上のデータを復元しにくくするには

本機を廃棄、譲渡する前に情報の漏洩を防ぐために[Empty]を行うことをおすすめします。[Empty]を行うとデータの復元が困難になります。

[Format]画面で内蔵メモリーを選択し、[Empty]を選んでください。



- ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、[Empty]を行うことはできません。
- 大切な画像データはパソコンまたは他機に保存してから、[Empty]を行ってください。



TC/UB (タイムコードやユーザー ビットの設定)

- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データの消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- データの消去にかかる時間は、液晶モニター上でご確認ください。
- [Executing...]と表示されている間に中止した場合は、次に本機を使う前に、[Format]または[Empty]を実行して完了させてください。

Repair Img. DB F. (管理ファイル修復)

95ページをご覧ください。

File Number (ファイル番号)

静止画のファイル番号の付けかたを選びます。

▶ Series

静止画のファイル番号を連続して付ける。撮影するたびに画像のファイル番号が大きくなる。メモリーカードを取り換えた場合も、ファイル番号は連続して付く。

Reset

記録メディアに存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。メモリーカードを取り換えた場合は、メモリーカードごとにファイル番号が付く。

メニューの操作方法は58ページをご覧ください。

▶はお買い上げ時の設定です。

TC/UB Disp

タイムコード/ユーザービット表示を切り換えられます。

▶ TC

タイムコード表示にする。

U-Bit

ユーザービット表示にする。

TC Preset

タイムコードを設定できます。

- ① 設定する2桁を選び、 \uparrow / \downarrow で数値を設定する。
 - タイムコードは、00:00:00.00 ~ 23:59:59.29の範囲で設定します。
 - 24p設定時は、末尾2桁を0 ~ 23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。
- ② 手順①と同様に他の桁を設定し、OKを選ぶ。

タイムコードをリセットするには

[TC Preset]画面で[Reset]を選ぶ。または、リモコンのTC RESETボタンを押す。

UB Preset

ユーザービットを設定できます。

- ① 設定する2桁を選び、 \uparrow / \downarrow で数値を設定する。
- ② 手順①と同様に他の桁を設定し、OKを選ぶ。

ユーザービットをリセットするには

[UB Preset]画面で[Reset]を選ぶ。

TC Format

タイムコードの記録方式を選びます。

▶ DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

ご注意

- [HD] Rec Formatが[1080/24p **FX**]または[1080/24p **FH**]に設定されているときは、[NDF]に固定されます。
- タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

TC Run

タイムコードの歩進を選びます。

▶ Rec Run

記録中のみタイムコードが歩進する。最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

Free Run

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

ご注意

- [Rec Run]モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
 - 録画フォーマットを切り換えたとき
 - 記録メディアを取り外したとき

TC Make

▶ Preset

新たに設定したタイムコードを記録メディアに記録する。

Regenerate

記録メディアに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。
[TC Run]の設定に関係なく、タイムコードは[Rec Run]モードで歩進する。

UB Time Rec

▶ Off

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

On

時刻をユーザービットコードとして記録する。

ご注意

- [On]のときは、下位2桁は00に固定されます。

Edit/Copy (コピー・プロテクトなど の編集に関する設定)

メニューの操作方法は58ページをご覧ください。

Delete (削除)

47ページをご覧ください。

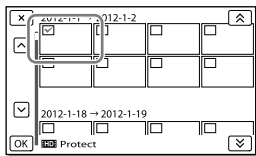
Protect (プロテクト)

画像を誤って削除してしまうことを防ぎます。プロテクトされた画像には☑マークが付きます。

■ Multiple Images

画像を選んでプロテクトします。

- ① プロテクトする画像の種類を選ぶ。
- ② プロテクトする画像を選び、☑マークをつける。



- 複数選択できます。
- ☑マークがついている画像を選ぶと、☑マークが消えてプロテクトが解除されます。

- ③ → を選ぶ。

■ Set All In Event

指定した日付の画像をまとめてプロテクトします。

- ① /を選んでプロテクトする日付を選ぶ。

- 複数の日付は選べません。

- ② → を選ぶ。

■ Remove All In Event

指定した日付の画像をまとめてプロテクト解除します。

- ① /を選んでプロテクトを解除する日付を選ぶ。

- 複数の日付は選べません。

- ② → を選ぶ。

Copy (コピー)

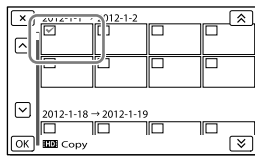
本機を使って内蔵メモリーから画像をコピーできます。コピーしても元の画像は削除されません。

[Copy]を選ぶと、コピー元とコピー先のメディアが表示されます。お好みの項目を選んでください。

■ Multiple Images

画像を選んでコピーします。

- ① コピーする画像の種類を選ぶ。
- ② コピーする画像を選び、☑マークをつける。



- 複数選択できます。

- ③ → を選ぶ。

■ All In Event

指定した日付の画像をまとめてコピーします。

- ① コピーする画像の種類を選ぶ。

- ② /を選んでコピーする日付を選ぶ。

- 複数の日付は選べません。

- ③ → を選ぶ。



Setup (その他のいろいろな設定)

ご注意

- [Copy]は再生モード時に選択できません。☒
(画像再生)ボタンを押して、再生画面から、
[MENU] → [Edit/Copy] → [Copy]を選んでください。
 - 初めてメモリーカードに画像を記録するときは、[MENU] → [Rec/Media SET] → [Repair Img. DB F.] → [Memory Card]の順に選んで管理ファイルを作成してください。
 - 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 🔊
- コピーできているか確認する：[Media Select] (21ページ)
 - 外付けメディアに保存する (53ページ)

Direct Copy (ダイレクトコピー)

本機と外付けメディアの接続中に手動でコピーができます。外付けメディアのイベントビューで操作を行ってください。53ページをご覧ください。

メニューの操作方法は58ページをご覧ください。

▶ はお買い上げ時の設定です。

Data Code (日付/データ表示)

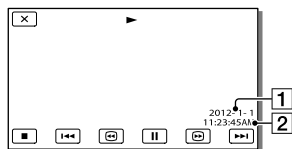
撮影時に自動的に記録された情報を再生時に表示できます。

画面に表示されるデータは以下のとおりです。

▶ Off

撮影情報を表示しない。

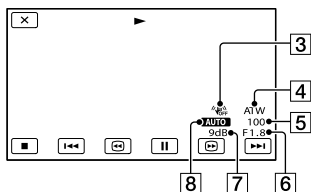
Date/Time



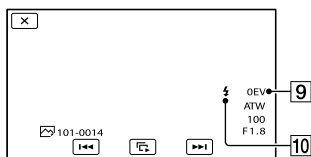
- 1 日付
- 2 時刻

Camera Data

動画

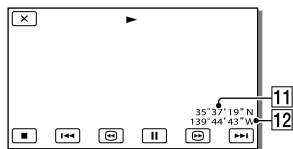


静止画



- 3 手ブレ補正切
- 4 ホワイトバランス
- 5 シャッタースピード
- 6 絞り値
- 7 ゲイン
- 8 明るさ調節
- 9 露出
- 10 フラッシュ

Coordinates



- 11 緯度
- 12 経度

ご注意

- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- 記録メディアの状態によっては、[----]と表示されます。

Disp Output (画面表示出力)

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD Panel

ファインダーと液晶画面に出力する。

V-Out/Panel

テレビ画面とファインダー、液晶画面に出力する。

TV Type (TVタイプ)

接続するテレビの横縦比に合わせて出力信号を変換します。

▶ 16:9

ワイドテレビで再生するときを選ぶ。

ワイド(16:9)で撮影 4:3で撮影した画像した画像



4:3

4:3テレビで再生するときを選ぶ。

ワイド(16:9)で撮影 4:3で撮影した画像した画像



ご注意

- ハイビジョン画質(HD)で撮影するときの横縦比は16:9になります。

HDMI Resolution (HDMI 解像度)

HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選びます。

1080p/480p

ハイビジョン画質(HD)の動画は1080p、標準画質(STD)の動画は480pで出力する。
[HDMI Rec Format]を[1080/60p PS]にして撮影した動画を60p対応のテレビで見るときは[1080p/480p]を選ぶ。

▶ 1080i/480i

ハイビジョン画質(HD)の動画は1080i、標準画質(STD)の動画は480iで出力する。

720p/480p

ハイビジョン画質(HD)の動画は720p、標準画質(STD)の動画は480pで出力する。

480p

480pで出力する。

480i

480iで出力する。

ご注意

- [HDMI Rec Format]を[1080/60p PS]に設定中で、HDMI解像度を[720p/480p]または[480p]に設定した場合、撮影中にHDMI出力ができません。

HDMI TC Output (HDMI TC出力)

HDMI接続した他機にタイムコード、ユーザービットデータを伝送できます。

▶ Off

タイムコード、ユーザービットコードを出力しない。

On

タイムコード、ユーザービットコードを出力する。

USB Connect (USB接続)

USBケーブルで本機と接続機器をつないでも[USB Select]画面が表示されない場合に使います。

Beep (操作音)

▶ Off

メロディを鳴らさない。

On

撮影スタート/ストップなど本機の操作時にメロディが鳴る。

LCD Brightness (パネル明るさ)

パネルの明るさを調節できます。

▶ Normal

通常の設定(標準の明るさ)。

Bright

液晶モニターが見にくいときに選ぶ。録画される画像に影響はない。

Display Setting (画面表示設定)

画面表示の設定をします。

▶ Auto

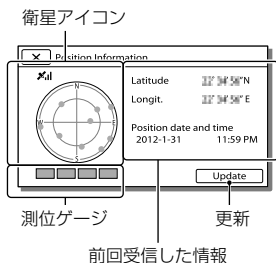
画面表示を約3秒間だけ表示する。液晶モニター横に録画/ズームボタンを表示する。

On

画面表示を常時表示する。液晶モニター横に録画/ズームボタンを表示しない。

GPS Information(GPS情報)

測位情報を表示します。



取得情報の見かた

衛星表示/測位ゲージの色	状態
●/■(黒)	信号なし/軌道情報あり
●/■(グレー)	軌道情報33%取得済み
●/■(茶色)	軌道情報66%取得済み
●/■(黄土色)	軌道情報99%取得済み
●/■(緑)	測位利用中

位置情報が受信できなかったときは

測位優先モードが起動します。他の機能を停止して衛星を探索するので測位情報を受信しやすくなります。

測位情報を更新するには

[Update]を選ぶ。

測位情報画面を閉じるには

[OK]を選ぶ。

GPS Setting

GPS信号の受信を設定できます。

▶ On

GPS信号を受信する。測位が成功するまで位置情報は記録されない。

Off

GPS信号を受信しない。前回測位した位置情報は無効になる。

REC Lamp (録画ランプ)

撮影中に本体前面の録画ランプが点灯しないように設定できます。(お買い上げ時の設定は[On])

Remote Ctrl (リモコン)

▶ On

付属のワイヤレスリモコン(9ページ)を使う。

Off

他機のリモコンによる誤動作を防ぐため、リモコンは使わない。

Language Setting

▶ English

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

ENG[SIMP]

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示する。

Calibration (キャリブレーション)

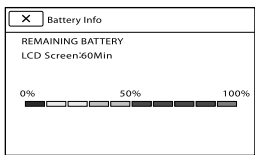


109ページをご覧ください。

Battery Info (バッテリーインフォ)



装着しているバッテリー残量の目安を確認できます。



Date & Time Setting (日時設定)



■ Date & Time Format

年-月-日の表示順を選べます。

■ Summer Time

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。

▶ Off

サマータイムに設定しない。

On

サマータイムに設定する。時計が1時間進む。

■ Date & Time

17ページをご覧ください。

Area Setting (エリア設定)



時計を止めることなく時差補正ができます。本機を使用する場所に適した時刻に合わせることができます。「世界時刻表」(102ページ)もご覧ください。

Auto Clock ADJ (自動時刻補正)



GPSから時刻を取得して、正確な時刻を維持します。

▶ On

自動で時刻を補正する。

Off

自動で時刻を補正しない。

ご注意

- 日時合わせをしておいてください(17ページ)。
- [Auto Clock ADJ]は、数秒の誤差が生じることがあります。
- [Auto Clock ADJ]は、本機の起動中にGPS信号を受信して測位に成功したときに時刻を補正します。一度補正したら次の起動まで行いません。
- 地域によっては、[Auto Clock ADJ]が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を[Off]にしてください。

Auto Area ADJ (自動エリア補正)



GPSから現在地情報を取得して、時差を検出した場合、自動で補正します。

▶ On

自動で時差を補正する。

Off

自動で時差を補正しない。

ご注意

- 日時合わせをしておいてください(17ページ)。
- 地域によっては、[Auto Area ADJ]が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を[Off]にしてください。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従って対応してください。

① 87～94ページの項目をチェックし、本機を点検する。

② 電源を取り外し、約1分後に再び取り付け、本機の電源を入れる。

③ RESETボタン(7ページ)を先の細いもので押してから電源を入れる。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。

- 修理内容によっては内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に内蔵メモリー内のデータを保存(バックアップ)してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。

- 全体操作・リモコン 87ページ
- バッテリー・電源 88ページ
- 液晶モニター・ファインダー 89ページ
- メモリーカード 89ページ
- 撮影 90ページ
- 再生 92ページ
- 他機でのメモリーカード再生 93ページ

- 本機での編集 93ページ
- テレビでの再生 93ページ
- ダビング・外部機器接続 93ページ
- パソコンとの接続 94ページ

全体操作・リモコン

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(14ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(14ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタン(7ページ)を先のがったもので押す(すべての設定が解除されます)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動してしばらくしてから電源を入れる。

メニュー項目の設定が変わっている。

- おまかせオート中は、画質に関わる設定が自動で変わります。
- 次のメニュー項目は、動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えると、お買い上げ時の設定に戻ります。
 - [Fader]
 - [Self-Timer]
 - [Tele Macro]

本機が温かくなる。

- 本機を使用中に本機が温かくなる場合がありますが、故障ではありません。

本機を振ると音がする。

- 電源を入れて撮影モードで振ったときに音がしなければ内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

おまかせオートが解除される。

- 次の設定を変更するとおまかせオートは解除されます。
 - [Smth Slw REC]
 - [Golf Shot]
 - [White Balance]
 - [Spot Meter/Fcs]
 - [Spot Meter]
 - [Spot Focus]
 - [Exposure]
 - [Focus]
 - [IRIS]
 - [Shutter Speed]
 - [AGC Limit]
 - [AE Shift]
 - [White Balance Shift]
 - [Low Lux]
 - [Scene Selection]
 - [Cinematone]
 - [Tele Macro]

- [SteadyShot]
- [SteadyShot]
- [Auto Back Light]
- [Face Detection]

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- メニューの[Remote Ctrl]を[On]にする(84ページ)。
- 電池の+極と-極を正しく入れる(108ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。

リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

バッテリー・電源

電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する(14ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点灯しない。

- 液晶モニターを閉じる(14ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(14ページ)。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している(14ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点滅する。

- USB充電のときは、USBケーブルを抜いて再度つなぐ。
- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります(105ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(14ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不十分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(106ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不十分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(106ページ)。

液晶モニター・ファインダー

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できない状態です。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶モニターを軽くタッチする。
- DISPボタンを押す(19ページ)。
- リモコンのDISPLAYボタンを押す(9ページ)。

タッチパネルのボタンが操作できない、または正しく操作できない。

- タッチパネルを調節(キャリブレーション)する(109ページ)。

タッチパネルのボタンがすぐに消えてしまう。

- [Display Setting]を[On]にする(83ページ)と撮影モード時には常時表示させることができます。

パネルに格子状の点が見える。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを動かす(18ページ)。

ファインダーの画像が消えている。

- ファインダーが引き出されていても、液晶画面を開いているとファインダーには画像は映りません。液晶画面を閉じる(18ページ)。

メモリーカード

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機でフォーマットする(77ページ)。

メモリーカードの画像が削除できない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトをかけた画像は削除できません。



データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(104ページ)。



撮影

「メモリーカード」(89ページ)もご覧ください。

START/STOPボタンやFIXED SHOT/PHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。MODEボタンを押して、 (動画)ランプまたは (静止画)ランプを点灯させる(23、24ページ)。
- 直前に撮影した画像を記録メディアに書き込んでいます。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- 記録メディアの空き容量がない。不要な画像を削除する(47ページ)。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている(99、100ページ)。不要な画像を削除する(47ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。

静止画を撮影できない。

- 次の設定のとき、静止画を記録できません。
 - [Smth Slw REC]
 - [Golf Shot]
 -  Fader
-  REC Format]によっては、動画撮影モードで静止画の撮影はできません。


撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

フラッシュが発光しない。

- 次のとき、内蔵フラッシュでの撮影はできません。
 -  (動画)ランプが点灯中
 - [Conversion Lens]が[Off]以外に設定されているとき
- 自動調節や自動赤目軽減にしても、次の設定のときフラッシュは自動発光しません。
 - NightShot
 - MANUALダイヤルに[IRIS]、[Shutter Speed]を割り当てて、手動設定をしているとき
 - [Spot Meter/Fcs]
 - [Spot Meter]
 - [Exposure]が[Manual]のとき
 - [Scene Selection]の[Night Scene]、[Sunrise&Sunset]、[Fireworks]、[Landscape]、[Spotlight]、[Beach]、[Snow]

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなります(99ページ)。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始・終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始・終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

動画の横縦比(ワイド/4:3)が切り換えられない。

- ハイビジョン画質(HD)のときは、動画の横縦比は切り換えられません。

オートフォーカスができない。

- [Focus]を[Auto]にする(67ページ)。
- オートフォーカスが動きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる(67ページ)。

手ブレ補正ができない。

- [■ SteadyShot]を[Active]または[Standard]、[📷 SteadyShot]を[On]にする(34、70ページ)。

- [■ SteadyShot]が[Active]または[Standard]、[📷 SteadyShot]が[On]になっても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- [Conversion Lens]を[Off]にする(71ページ)。

画像が正しく記録・再生できない。

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。画像を保存したあと、[Format]する(77ページ)。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画像の色が正しくない。

- NightShotを解除する(34ページ)。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NightShotを解除する(34ページ)。

横帯が現れる。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがあります。故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [HDMI SteadyShot]を[Active]以外に設定する(34ページ)。

[LCD Brightness]を調節できない。

- 次のとき、[LCD Brightness]は調節できません。
 - 液晶モニターを外側に向けて本体に収めているとき
 - ACアダプターを使用しているとき

音声为正しく記録されない。

- 動画記録開始時のマイク接続状態に戻すことで正しく記録されます。

静止画が自動的に記録されている。

- お買い上げ時の設定では、人物の笑顔を認識して静止画を自動的に記録します([Smile Shutter], 72ページ)。

タイムコードがつかない。

- [HDMI / STOP Setting]や[HDMI Rec Format]で設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

再生

画像を再生できない。

- 再生したい画像が入っている記録メディアを選ぶ(21ページ)。
- 再生したい画像の記録画質(ハイビジョン/標準)を選ぶ(36ページ)。
- 他機で撮影した動画・静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません。

動画が止まって見える

- 動画撮影中に記録した静止画が再生されている。お買い上げ時の設定では、動画と静止画が続けて再生されます。動画/静止画表示切り換えを[HDMI 動画]に設定すると動画のみを再生できます。

サムネイル画像の代わりに[?]が表示される。

- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した画像などはこのように表示されることがあります。
- 撮影後に液晶モニター右上の記録メディアアイコン点灯中や、アクセスランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーを外した。この操作をすると、画像データが壊れて[?]が表示されることがあります。

サムネイル画像の代わりに[?]が表示される。

- 管理ファイルが壊れている。
[MENU]→[Rec/Media SET]→[Repair Img. DB F.]→記録メディアの順に選び、管理ファイルの状態をチェックする。それでも消えない場合は[?]が表示されている画像を削除する(47ページ)。

音声が小さい、または聞こえない。

- 音量を大きくする(30ページ)。
- [Micref Level] (74ページ)を[Low]にして記録すると、音声が小さくなる場合があります。
- [Smth Slw REC]、[Golf Shot]で、音声は記録できません。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi chは5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

他機でのメモリーカード再生

再生できない、またはメモリーカードが認識されない。

- 再生機器がメモリーカードの再生に対応していません(31ページ)。

本機での編集

編集できない。

- 動画の状態により編集ができなくなっている。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- プロテクトを削除してから分割する。

動画から静止画を作成できない

- 静止画を記録する記録メディアの容量が足りない。

テレビでの再生

テレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像は、HDMI出力端子から出力できません。

テレビにつないで再生すると、画面の上下左右が若干切れて表示される。

- 本機の液晶モニターは記録エリア全体を表示できるフルピクセル表示のため、フルピクセル表示に対応していないテレビにつないで再生すると画面の上下左右が若干切れて表示されます。
- [Guide Frame] (75ページ)の外側の枠を目安に撮影する。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。[TV Type]を正しく設定して再生する(82ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

ダビング・外部機器接続

ダビングできない。

- HDMIケーブルを使っでのダビングはできません。
- A/V接続ケーブルが正しくつながっていない。他機の入力端子へつながっているか確認する(52ページ)。

自己診断・警告表示

パソコンとの接続

本機がパソコンに認識されない。

- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。
- パソコンから本機のビルトインUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。
- 本機のビルトインUSBケーブルとUSB端子の両方が接続されている場合は、パソコンにつながっていない方を抜く。

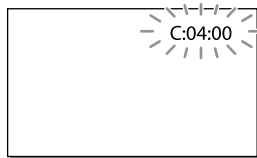
動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- パソコンから本機のビルトインUSBケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むには付属のソフトウェアのインストールが必要です(55ページ)。

パソコンがハングアップする。

- パソコンから本機のビルトインUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

液晶モニターまたはファインダーに次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。CまたはEからはじまる数字すべてをお知らせください。



- メッセージによっては表示されるときに警告音が鳴ります。

C: (またはE:) □□:□□ (自己診断表示)

C:04:□□

- “インフォリチウム”バッテリーVシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーVシリーズを使う(105ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ(14ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□ / C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 87ページの手順②からお試ください。

⚡ (バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがあります。

🔥 (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

🗂 (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、22ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(21ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存(バックアップ)してから(49ページ)、メモリーカードをフォーマットする(77ページ)。
- 管理ファイルが壊れている。
[MENU] → [Rec/Media SET] → [Repair Img. DB F.] → 記録メディアの順に選び、管理ファイルの状態をチェックする。
- メモリーカードが壊れている。

🗂 (メモリーカードのフォーマット関連の警告)

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しくフォーマットされていない(77ページ)。

🗂 (非対応メモリーカード関連の警告)

- 本機では使えないメモリーカードを入れた(22ページ)。

🗂 (メモリーカード誤消去防止に関する警告)

- メモリーカードの誤消去防止スイッチが書き込み禁止になっている。
- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

🗂 (外付けメディア関連の警告)

- 管理ファイルが壊れている。
[MENU] → [Rec/Media SET] → [Repair Img. DB F.] → 記録メディアの順に選び、管理ファイルの状態をチェックする。
- 外付けメディアが壊れている。

🗂 (外付けメディアのフォーマット関連の警告)

- 外付けメディアが壊れている。
- 外付けメディアが正しくフォーマットされていない。

🔋 (フラッシュ関連の警告)

速い点滅

- フラッシュに異常がある。

👉 (手ブレ警告)

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ブレが起こりやすくなっているため、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

🔊 (静止画撮影に関する警告)

- メディアの空き容量がない。
- 処理中のため、一時的に静止画記録ができません。しばらく待ってから撮影する。
- [HD] Rec Format] を [1080/60p PS]、[1080/60i FX] または [720/60p FX] に設定しているときは、動画撮影中に静止画の撮影はできません。また、[1080/30p FX]、[1080/30p FH]、[1080/24p FX] または [1080/24p FH] に設定しているときは、動画撮影モードで静止画を撮影できません。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

記録メディア

🔊 Cannot recognize the internal memory. Format and use again.

- 本機の内蔵メモリーが、出荷時と異なるフォーマットになっている。[Format] (77 ページ) を行うと使えることがあります。その場合データはすべて消去されます。

Data error.

- 本機の内蔵メモリーへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。
- メッセージの前にGPSアイコンが付いている場合は、GPS受信機に問題が起きている可能性がある。本機の電源を入れ直す。
- 本機に振動を与えつづけたときに、発生することがあります。
- 他機で撮影した動画は再生できないことがあります。

The Image Database File is damaged. Do you want to create a new file?

HD movie management information is damaged. Create new information?

- 管理ファイルが破損しているため、動画・静止画撮影ができません。[OK]を選んで修復する。

There is no Image Database File Movies cannot be recorded or played Create a new file?

- 動画管理情報がないため、撮影や再生ができません。[Yes] を選ぶと管理情報が新規作成され、動画の撮影・再生ができるようになります。

There is no HD movie management information. Create new information?

- ハイビジョン画質(HD)の動画管理情報がないため、撮影や再生ができません。[Yes] を選ぶと管理情報が新規作成され、ハイビジョン画質(HD)の動画の撮影・再生ができるようになります。
- 標準画質(STD)の動画や静止画の撮影は可能です。

Inconsistencies found in image database file. Do you want to repair the image database file?

The Image Database File is damaged. Do you want to repair the Image Database File?

Inconsistencies found in image database file. Cannot record or play HD movies. Do you want to repair the image database file?

- 管理ファイルが破損しているので、動画・静止画撮影ができません。[OK]を選んで修復する。

Inconsistencies found in the image database file. Back up and recover. Recover, then import using the included PC software.

- ハイビジョン画質(HD)の動画の管理情報が破損し、管理ファイルとの間に不整合が発生しています。[OK]を選ぶとハイビジョン画質(HD)の動画をバックアップして管理ファイルを修復します。バックアップされた動画は本機では認識できません。修復したあと、本機を付属のソフトウェア「Content Management Utility」がインストールされたパソコンにつなぐと、バックアップされたハイビジョン画質(HD)の動画をパソコンに取り込むことができます。ただし、すべての動画の取り込みを保証するものではありません。

Buffer overflow. Writing to the media was not completed in time.

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、本機でフォーマットし直す(77ページ)。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録時間に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(22ページ)。

Recovering data.

- 本機のメディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みます。

Cannot recover data.

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のメディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

🔄 Reinsert the memory card.

- メモリーカードを2,3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

🔄 Cannot recognize this memory card. Format and use again.

- メモリーカードを本機でフォーマットする(77ページ)。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

Still picture folder is full. Cannot record still pictures.

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- フォーマットするか(77ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

This memory card may not be able to record or play movies.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(22ページ)。

This memory card may not be able to record or play images correctly.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(22ページ)。
- ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

Do not eject the memory card during writing. Data may be damaged.

- メモリーカードをもう一度入れる。

External media cannot execute functions.

- [MENU] → [Rec/Media SET] → [Repair Img. DB F.] → 記録メディアの順に選び、管理ファイルの状態をチェックする。
- それでも表示される場合は、外付けメディアを接続し直したあと、フォーマットしてください。フォーマットすると、外付けメディアに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- フォーマットに失敗する場合は、本機で対応していない外付けメディアか、もしくは外付けメディアが壊れている可能性があるので交換してください。

Unable to access external media.

- 安定した状態(振動もなく、外付けメディアが室温となる環境など)にしてご使用ください。
- 外付けメディアの電源が抜けていないか確認してください。

その他

Maximum number of images already selected.

- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
 - 画像の削除
 - 画像のプロテクト、解除
 - 画像のコピー

Data protected.

- プロテクトされた動画・静止画を削除しようとした。プロテクトを解除する。

記録時間・枚数について

「HD」はハイビジョン画質、「STD」は標準画質を表しています。

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

バッテリー型名 画質	連続撮影時		実撮影時	
	HD	STD	HD	STD
NP-FV50	90	95	45	45
	95	100	45	50
NP-FV70 (付属)	185	205	90	100
	195	210	95	105
NP-FV100	375	405	185	200
	395	415	190	205

- 上段：液晶画面を開いているとき
下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用するとき
- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
 - **[HD]** Rec Format：ハイビジョン画質(HD)の[1080/60i **FX**]
 - XLRアダプター装着、付属マイク使用時
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、MODEランプの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10℃～30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

バッテリー型名 画質	(単位：分)	
	HD	STD
NP-FV50	190	215
	200	225
NP-FV70 (付属)	395	440
	415	465
NP-FV100	785	870
	830	925

- 上段：液晶画面を開いているとき
下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用するとき

動画の撮影可能時間の目安

内蔵メモリー

ハイビジョン画質(HD)のとき

録画モード	録画時間 (最低録画時間)
PS	7時間30分(7時間30分)
PS	7時間55分(7時間55分)
FX	8時間45分(8時間45分)
FX	9時間20分(9時間20分)
FH	11時間40分(11時間40分)
FH	12時間50分(12時間50分)
HQ	19時間25分(15時間15分)
HQ	22時間45分(17時間15分)
LP	30時間45分(26時間30分)
LP	39時間55分(32時間35分)

- **[HD]** Audio Format]が次の設定のとき
上段：リニアPCM方式
下段：ドルビーデジタル方式

標準画質(STD)のとき

録画モード	録画時間 (最低録画時間)
HQ	23時間50分(21時間50分)

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質(HD)で最大3,999個、標準画質(STD)で9,999個です。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。

メモリーカード

ハイビジョン画質(HD)のとき

	(単位：分)				
	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
PS	8 (8)	15 (15)	35 (35)	70 (70)	145 (145)
	9 (9)	15 (15)	35 (35)	75 (75)	150 (150)
FX	9 (9)	20 (20)	40 (40)	80 (80)	170 (170)
	10 (10)	20 (20)	40 (40)	90 (90)	180 (180)
FH	10 (10)	25 (25)	55 (55)	110 (110)	225 (225)
	10 (10)	25 (25)	60 (60)	120 (120)	245 (245)
HQ	20 (15)	45 (35)	90 (70)	185 (145)	375 (290)
	25 (15)	50 (40)	105 (80)	215 (165)	440 (330)
LP	30 (30)	70 (60)	145 (125)	295 (250)	590 (510)
	45 (35)	90 (75)	185 (155)	380 (310)	770 (630)

- [HHD] Audio Format]が次の設定のとき
上段：リニアPCM方式
下段：ドルビーデジタル方式

標準画質(STD)のとき

	(単位：分)				
	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
HQ	25 (25)	55 (50)	110 (100)	225 (210)	460 (420)

- ソニー製メモリーカード使用時。

ご注意

- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、[HHD] Rec Format] (36ページ)によっても変わります。
- ()内は最低録画時間です。

静止画の撮影可能枚数の目安

内蔵メモリー

最大40,000枚撮影できます。

メモリーカード

	16:9 24.1M
2 GB	200
4 GB	400
8 GB	810
16 GB	1 600
32 GB	3 250

- ソニー製メモリーカード使用時。
- メモリーカードの撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶モニター上でご確認ください(115ページ)。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

ご注意

- ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

海外で使う


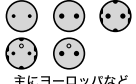

ビットレートと記録画素数

- 動画のビットレート(動画+音声など)、画素数およびアスペクト比
 - ハイビジョン画質(HD) :
PS : 最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
FX : 最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9、1,280×720画素/16:9
FH : 約17Mbps(平均) 1,920×1,080画素/16:9、1,280×720画素/16:9
HQ : 約9Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9
LP : 約5Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9
 - 標準画質(STD) :
HQ : 約9Mbps(平均) 720×480画素/16:9、4:3
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
 - 静止画撮影モード、写真同時記録 :
6,544 × 3,680 ドット/16:9
4,912 × 3,680 ドット/4:3
4,672 × 2,628 ドット/16:9
2,592 × 1,944 ドット/4:3
1,920 × 1,080 ドット/16:9
640 × 480 ドット/4:3
 - 動画から静止画作成 :
1,920×1,080ドット/16:9
640×360ドット/16:9
640×480ドット/4:3

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源(AC100V ~ 240V、50Hz/60Hz)で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米	 主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

ハイビジョン画質(HD)で見るとは

ハイビジョン画質(HD)で記録した画像をハイビジョン画質(HD)で見るとは、ハイビジョン対応のテレビ(またはモニター)とHDMIケーブルが必要です。本機の再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は「テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)」を参照してください。

標準画質(STD)で見るとは

標準画質(STD)で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式(NTSC、下記参照)で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式が NTSC の国、地域(五十音順)

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、**[MENU]**→**[Setup]**→**[Clock Settings]**→**[Date & Time Setting]**→**[Summer Time]**と、**[MENU]**→**[Setup]**→**[Clock Settings]**→**[Area Setting]**を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます(85ページ)。

[Auto Clock ADJ]・**[Auto Area ADJ]**が**[On]**の場合、GPSにより自動的に現地時間に設定されます(85ページ)。

世界時刻表

時差	エリア設定
GMT	リスボン、ロンドン
+01:00	ベルリン、パリ
+02:00	ヘルシンキ、カイロ、イスタンブール
+03:00	ナイロビ
+03:30	テヘラン
+04:00	モスクワ、アブダビ、バク
+04:30	カブール
+05:00	カラチ、イスラマバード
+05:30	カルカッタ、ニューデリー
+06:00	アルマトイ、ダッカ
+06:30	ヤンゴン
+07:00	バンコク、ジャカルタ
+08:00	香港、シンガポール、北京
+09:00	東京、ソウル
+09:30	アデレード、ダーウィン
+10:00	メルボルン、シドニー
+11:00	ニューカレドニア
+12:00	フィジー、ウェリントン、エニウエトク、クエジェリン
-11:00	サモア
-10:00	ハワイ
-09:00	アラスカ
-08:00	サンフランシスコ、ティファナ
-07:00	デンバー、アリゾナ
-06:00	シカゴ、メキシコシティ
-05:00	ニューヨーク、ボゴタ
-04:00	サンティアゴ
-03:30	ニューファンドランド
-03:00	ブラジリア、プエノスアイレス
-02:00	フェルナンドデノローニャ
-01:00	アゾレス、カボベルデ

使用上のご注意と お手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD(ハイビジョン)信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD(ハイビジョン)記録・再生ができます。

また、AVCHD規格でのHD(ハイビジョン)記録に加え、従来からのMPEG-2規格でSTD(標準)記録することもできます。

映像* : MPEG-4 AVC/H.264 1920×1080/60p、1920×1080/60i、1440×1080/60i、1920×1080/24p、1280×720/60p

音声 : リニアPCM 2ch/ドルビーデジタル2ch

記録メディア :

内蔵メモリー、メモリーカード

* 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

GPSについて

GPS(Global Positioning System)とは、米国の高精度な航法衛星を利用した地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度約20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報(アルマナックデータ)と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。

位置を計算することを測位と呼び、衛星は3機以上受信できれば、緯度、経度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、位置情報を記録できないことがあります。
 - トンネルの中・屋内やビルの陰
 - 高層ビルの間・建物の間の狭い道路
 - 地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
 - 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合

誤差について

- 本機の電源を入れた直後に移動すると、移動しなかった場合に比べて、測位までの時間が長くなることがあります。

- GPS衛星自体による誤差
本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と記録された位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国防総省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。
- 測位時間による誤差
本機では測位中に位置情報を定期的に取得しています。位置情報の取得と画像への書き込みに若干の時間差があるため、実際に画像を撮影した位置と記録された位置が異なる場合があります。

規制について

- 使用する国や地域、またご利用になる場所の規制に従ってGPSをお使いください。

測地系について

- 本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

メモリーカードについて

- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み・書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償についてはご容赦ください。
 - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気が多い場所や腐食性のものがある場所

使用できるメモリーカードについて

- 標準の“メモリスティック”の約半分の大きさの“メモリスティック PRO デュオ”、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因となります。

メモリーカードアダプターの使用について

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと、正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。

- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、本機でフォーマットしてください(77ページ)。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリスティック”について

“メモリスティック”の種類	記録・再生
“メモリスティック デュオ” (マジックゲート対応)	—
“メモリスティックPRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリスティックPRO-HG デュオ”	○

- 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリスティック PRO デュオ”と同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Vシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリー Vシリーズには

InfoLITHIUM  マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

- “インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
- “インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。
- バッテリー NP-FV70は、“ActiFORCE”に対応しています。“ActiFORCE”とは、当社従来の“インフォリチウム”バッテリー Pシリーズ電源システムと比較して高容量、急速充電、バッテリー残量計算精度・スピードを改善した、次世代電源システムの機能名称です。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、CHG(充電)ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
 - 高容量バッテリー「NP-FV100」(別売)を使う
- 液晶モニターの使用や再生・早送り・早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FV100」(別売)のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生をしていないときは、こまめに液晶モニターを閉じるようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。

- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電して本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

x.v.Color(エクスバイ・カラー)について

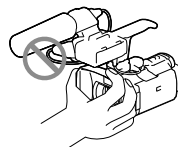
- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

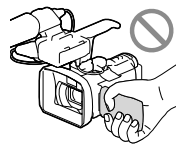
使用や保管場所について

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。故障や破損の原因になります。

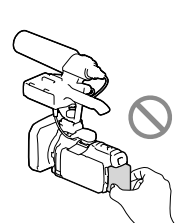
レンズフード



液晶モニター



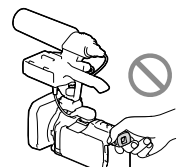
バッテリーパック



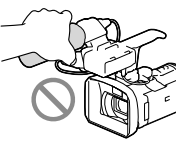
ビルトインUSBケーブル



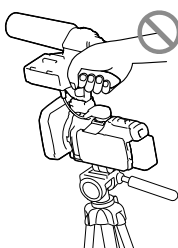
ファインダー



マイク



三脚を装着中のXLRアダプター



- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。
- 本機をご利用になる場所の規則に従ってお使いください。
- 使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。
 - 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
 - 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
 - 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
 - テレビ、ラジオなどのチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
 - 砂地、砂浜や砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
 - 液晶モニターやファインダーレンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶モニター内部やファインダーを傷めます。

長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶モニターおよびファインダーにメッセージが表示されます(95ページ)。

USB充電について

- すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。本機を接続したまま長時間放置しないでください。
- 自作パソコンや改造したパソコン、またハブ経由での充電は保証できません。同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

- 結露が起きたときは
電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。
- 結露が起りやすいのは
次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。
 - スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
 - 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
 - スクールや夏の夕立の後
 - 温泉など高温多湿の場所
- 結露を起りにくくするために
本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

パソコンやアクセサリなどとの接続について

- パソコンから本機の記録メディアをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機の電源が入っている状態でUSB接続しているときに、液晶モニターを閉じないでください。記録した映像が失われる場合があります。

別売りのアクセサリーについて

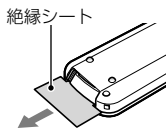
- ソニー純正アクセサリーの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

アクティブインターフェースシューについて

- 専用マイクやフラッシュなどを使うときに、本機から電源供給し、本機の電源の入/切に連動して接続機器の電源の入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 接続機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。
- フラッシュ(別売)を付けたまま撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 別売のフラッシュと内蔵フラッシュは同時に使えません。
- 外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます(6ページ)。

ワイヤレスリモコンについて

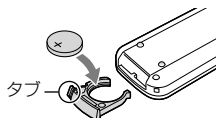
- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください(6ページ)。
- 一定時間リモコンからの操作がないと、水色の枠は消えます。再び◀/▶/▲/▼またはENTER(決定)ボタンのいずれかを押し、最後に表示されていた位置に枠が表示されます。
- ◀/▶/▲/▼で操作できないボタンもあります。

リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押すと、モニターにムラが出ることがあります。また、液晶モニターの故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

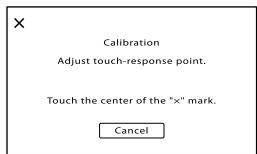
液晶画面のお手入れ

- 液晶画面の表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。
 - 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。
 - 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
 - ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
 - 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままでするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。

タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

- ① [MENU] → [Setup] → [General Settings] → [Calibration] をタッチする。



- ② メモリーカードの角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを3回タッチする。
解除するには[Cancel]をタッチする。

ご注意

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。
- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶モニターを傷つけるおそれがあります。
- 液晶モニターを反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う
 - ゴムやビニール製品との長時間接触

液晶モニターやフラッシュ発光部のお手入れについて

指紋やゴミなどがついて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

カールツァイスレンズについて

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

モジュレーション トランスファー ファンクション
* Modulation Transfer Functionの略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

プロジェクターのレンズ表面のお手入れについて

- プロジェクターのレンズ表面についた汚れは、メガネ拭きやクリーニングクロス等の柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、メガネ拭きやクリーニングクロス等の柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきん等はレンズ表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

主な仕様

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、液晶モニターを閉じて24時間以上放置する。

本機の廃棄・譲渡に関するご注意

動画と静止画の全削除や、[Format]を行っても、本機の内蔵メモリー内のデータは完全には消去されることがあります。本機を譲渡するときは、[Empty] (77ページ)を行って、内蔵メモリー内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されることがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

システム

信号方式
NTSCカラー、EIA標準方式
HDTV 1080/60i方式、1080/60p、720/60p方式

ビデオ記録方式
HD画質：MPEG-4 AVC/H.264
AVCHD規格 Ver.2.0準拠
STD画質：MPEG-2 PS

音声記録方式
リニアPCM 2ch (48 kHz 16 bit)
Dolby Digital 2ch (48 kHz 16 bit)
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

静止画ファイルフォーマット

：DCF Ver.2.0準拠
：Exif Ver.2.3準拠
：MPF Baseline準拠

記録メディア (動画・静止画)

内蔵メモリー：96 GB
*メモリースティック PRO デュオ®
SDカード(Class4以上)
使用可能容量：約95.6 GB

容量は、1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイル、アプリケーションファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。

ファインダー

電子ファインダー：カラー
画面サイズ：0.5cm(0.2型、アスペクト比4：3)
総ドット数：201 600ドット相当

撮像素子：

6.3 mm(1/2.88型) CMOSセンサー
記録画素数：
静止画時 最大2 410万画素相当*1
(6 544 × 3 680)(16：9時)
総画素数：約665万画素
動画時有効画素数*2 (16：9)：約614万画素
静止画時有効画素数(16：9)：約614万画素
静止画時有効画素数(4：3)：約460万画素

ズームレンズ：Carl Zeiss Jena バリオ・ソナー T*
10倍(光学)*2、17倍(エクステンデッド、動画時
のみ)*3、120倍(デジタル)

フィルター径：
52 mm
37 mm(ステップダウンリング装着時)
F1.8 ~ F3.4
f=3.8 mm - 38.0 mm
35 mmカメラ換算では
動画撮影時*2：
f=26.0 mm - 260 mm(16：9)
静止画撮影時：
f=26.0 mm - 260 mm(16：9)

色温度切り換え：[Auto]、[One Push]、[Indoor]
(3 200 K)、[Outdoor] (5 800 K)

最低被写体照度：

6 lx(ルクス)(お買い上げ時、[Shutter Speed]
1/60秒)
3 lx(ルクス)([Low Lux]が[On]時、[Shutter
Speed] 1/30秒)
0 lx(ルクス)(NIGHTSHOT時)

*1 ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

*2  SteadyShot]が[Standard]、または[Off]のとき

*3  SteadyShot]が[Active]のとき

入/出力端子


A/Vリモート端子：映像音声出力兼用端子

HDMI OUT端子：HDMIミニコネクタ

USB端子：mini-AB/タイプA(ビルトインUSB)(出力のみ)

ヘッドホン端子：ステレオミニジャック(φ3.5 mm)

MIC入力端子：ステレオミニジャック(φ3.5 mm)

INPUT1/INPUT2端子：XLR型3ピン、

MIC：-60/-50/-40 dBu、3kΩ

LINE：+4 dBu、10kΩ

(0 dBu=0.775 Vrms)

液晶モニター

画面サイズ：7.5 cm(3.0型、アスペクト比16：9)

総ドット数：921 600ドット

横1 920×縦480

プロジェクター

表示方式：DLP

光源：LED(R/G/B)

フォーカス：マニュアル

投写距離(約)：最低0.5m以上

コントラスト比：1500：1

解像度(出力)：nHD(640 × 360)

連続投影可能時間(付属バッテリー使用時)：
約3時間25分

電源部、その他

電源電圧：バッテリー端子入力 6.8 V/7.2 V

DC端子入力 8.4 V

USB充電：DC 5V 500mA/1.5A

消費電力：

マイク(ECM-XM1)、ファインダー使用時、明るさ標準：

HD：3.9 W STD：3.7 W

マイク(ECM-XM1)、液晶モニター使用時、明るさ標準：

HD：4.1 W STD：3.8 W

動作温度：0℃～40℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法(約)：

71.5 mm × 94.5 mm × 137.5 mm

(突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

135.5 mm × 181.5 mm × 310.5 mm

(突起部、レンズフード、バッテリー(NP-FV70)、XLRアダプター、マイク(ECM-XM1)を含む)

(幅×高さ×奥行き)

本体質量(約)：

615 g(本体のみ)

撮影時総質量(約)：

1 100 g(レンズフード、バッテリー(NP-FV70)、

XLRアダプター、マイク(ECM-XM1)を含む)

ACアダプター AC-L200C/AC-L200D

電源：AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電流：0.35 A - 0.18 A

消費電力：18 W

定格出力：DC 8.4 V*

動作温度：0℃～40℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法：約 48 mm × 29 mm × 81 mm(最大突起部を除く)(幅×高さ×奥行き)

質量：約170 g(本体のみ)

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70

最大電圧：DC 8.4 V

公称電圧：DC 6.8 V

容量：

公称容量：14.0 Wh(2 060 mAh)



定格(最小)容量：13.0 Wh(1 960 mAh)

使用電池：Li-ion

本機やアクセサリの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

商標について

- "NXCAM" ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- "AVCHD"、"AVCHD Progressive"、"AVCHD" ロゴおよび "AVCHD Progressive" ロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、、"メモリースティック デュオ"、**MEMORY STICK DUO**、"メモリースティック PRO デュオ"、**MEMORY STICK PRO DUO**、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、**MEMORY STICK PRO-HG DUO**、"マジックゲート"、**MAGIC GATE**、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- "x.v.Color" はソニー株式会社の商標です。
- **S-MASTER** はソニー株式会社の登録商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby, ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI, HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista, DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac, Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel, Intel Core, Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- "プレイステーション®3" は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、""、"プレイステーション" および "PlayStation" は同社の登録商標です。
- Adobe, Adobe logo, Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。
- (ii) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLCのホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、CD-ROMの「LICENSE」フォルダ内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名HDR-CX210Eをお選びください。
<http://www.sony.net/Products/Linux/>
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、CD-ROMの「LICENSE」フォルダ内にあるファイルをご一読ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

修理に出される前に

修理に出される前のご注意(87ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

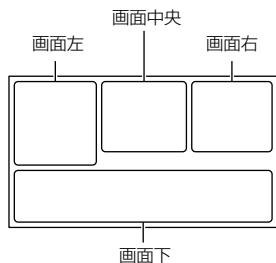
部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

画面表示

設定を変更したときなどに次の表示が出ます。

撮影画面(25ページ)、再生画面(29ページ)の表示もご覧ください。



画面左

表示	意味
	メニューボタン(58)
	セルフタイマー(70)
	GPS測位状況(42)
	ビデオライト
	ワイド切換(76)
	フェーダー(69)
	顔検出切(72)
	スマイル検出切(72)
	手動フォーカス(67)
	シーンセレクション(68)
	ホワイトバランス(65)
	手ブレ補正切(34、70)
	FIXED SHOT(34)
	WBシフト(68)
	テレマクロ(70)
	x.v.Color(77)
	コンバージョンレンズ(71)
	ゼブラ(75)
	ピーキング(75)
	シネマトーン
	おまかせオート撮影(顔認識/シーン認識/手ブレ/音検出)(33)

画面中央

表示	意味
	スライドショー設定
	NightShot(34)
	警告(94)
	再生表示(30)

画面右

表示	意味
1080/60i FX	Setting(76)、 Rec Format(36)
60min	バッテリー残量の目安
0:00:00.00	タイムコード(時:分:秒: フレーム)/ユーザービッ ト(78)
	記録/再生/編集メディア (21)
00Min	記録残量時間の目安
16:9 24.1M	静止画サイズ(37)
9999	およその静止画撮影可能 枚数と静止画サイズ
101	メモリーカードの再生 フォルダ
100/112	再生中の動画・静止画の 番号/記録している動画・ 静止画の数
	外付けメディア接続(53)

画面下

表示	意味
LPCM	Audio Format(73)
	おまかせオート(33)
	マイク基準レベル 低 (74)
	内蔵マイク風音低減(74)
	Low Lux(68)
AGC	AGCリミット(68)
	Spot測光フォーカス (66)/スポット測光(66) /カメラ明るさ(66)
EV	AEシフト(68)
10000	シャッタースピード(38、 67)
F1.8	絞り(37、67)
101-0005	データファイル名
	プロテクト(80)
	フラッシュ(72)/赤目軽 減(73)

- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。
- お使いの機種によって表示されないものがあります。

索引

ア

アイリス.....	37
アクティブインターフェース シュー.....	6
アフターサービス.....	114
イベントビュー.....	28
インストール.....	55
液晶モニター.....	23
エクステンデッドズーム.....	27
お知らせメッセージ.....	96
お手入れ.....	103
おまかせオート撮影.....	33
主な仕様.....	110

カ

海外.....	101
海外で充電.....	101
画像サイズ.....	37
画面表示.....24, 25, 30, 114	
管理ファイル修復.....	92, 95
キャリブレーション.....	109
記録時間・枚数.....	99
記録メディア.....	21
空間光学手ブレ補正.....	34
グリップベルト.....	9
結露.....	107
広角.....	27
故障かな?と思ったら.....	87
コンセントの電源で使う.....	16

サ

再生.....	28
削除.....	47
撮影・再生可能時間.....	99
サムネイル.....	29
三脚.....	7
自己診断・警告表示.....	94
自分撮り.....	26
絞り.....	37
写真同時記録.....	23
シャッタースピード.....	38
充電.....	14
修理.....	87
使用上のご注意.....	2, 103

ズーム.....	27
ステップダウンリング.....	9
スマイルシャッター.....	32
静止画.....	24
静止画の撮影可能枚数.....	100
接続.....	43
測位.....	42
外付けメディアに保存.....	53
ソフトウェア.....	55

タ

対面撮影.....	26
ダイレクトコピー.....	54
タッチパネル.....	24
ダビング.....	49
追尾フォーカス.....	32
ディスク作成.....	52
ディスクを再生.....	50
データ消去.....	77
テレビ.....	43
テレビ方式.....	102
電源.....	17
動画.....	23
動画から静止画を作る.....	48
動画の撮影可能時間.....	99
取り扱い上のご注意.....	106
撮る.....	23

ナ

日時.....	17
---------	----

ハ

ハードディスク.....	53
パソコン.....	55
パソコン環境.....	55
パソコンで充電.....	15
バッテリー.....	14
花火.....	69
日付/データ表示.....	20
ビデオライト.....	35
ビルトインUSB ケーブル.....	15, 51
付属品.....	10
ブルーレイディスク.....	51

プロジェクター.....	45
分割.....	47
編集.....	47
望遠.....	27
保証書.....	114

マ

満充電.....	15
見る.....	28
メディア切換.....	21
メディア設定.....	21
メニュー.....	58
メニュー一覧.....	60
メモリーカード.....	21, 104
"メモリースティック" デュオ.....	105
"メモリースティック PRO-HG デュオ"	22, 105
"メモリースティック PRO デュオ" (Mark2)	22, 105

ヤ

優先顔キメ機能.....	32
--------------	----

ラ

リセット.....	7
リモコン.....	9
リモコン電池.....	108
レコーダー.....	52
レンズフード.....	13

ワ

ワイヤレスリモコン.....	9
----------------	---

アルファベット

A

AE Shift.....	68
AGC Limit.....	68
Area Setting.....	85
Audio Format.....	73
Audio Level Display.....	76
Audio Output Timing.....	74
Auto Area ADJ.....	85
Auto Back Light.....	71
Auto Clock ADJ.....	85

AVCHD規格.....	103	FIXED SHOT.....	34	N	Night Portrait.....	68
AVCHD規格 Ver.2.0.....	51	FIXED SHOT/PHOTO.....	70		Night Scene.....	68
AVCHD記録ディスク.....	2	Flash.....	72		NightShot.....	34
AV/接続ケーブル.....	43, 44, 52	Flash Level.....	73		NIGHTSHOT Light.....	71
B		Focus.....	67		NTSC.....	102
Battery Info.....	85	Format.....	77	O		
Beach.....	69	FX.....	36		One Push.....	66
Beep.....	83	G			Outdoor.....	65
Black Fader.....	69	Golf Shot.....	64	P		
Blt-in Zoom Mic.....	73	GPS.....	42, 103		Peaking.....	75
C		GPS Information.....	84		Photo.....	64
Camera/Audio.....	65	GPS Setting.....	84		Portrait.....	69
Camera Data.....	82	Guide Frame.....	75		Protect.....	80
Cinematone.....	69	H			PS.....	36
Color Bar.....	71	HD/STD Setting.....	76	R		
Color Bar Tone.....	72	HDMI Resolution.....	83		Rec/Media SET.....	76
Content Management		HDMI TC Output.....	83		REC Lamp.....	84
Utility.....	10, 55	HDMIケーブル.....	43, 44		Red Eye Reduction.....	73
Conversion Lens.....	71	HQ.....	36		Remote Ctrl.....	84
Coordinates.....	82	I		S		
Copy.....	80	Indoor.....	65		Scene Selection.....	68
D		InfoLITHIUM/バッテリー.....	105		SDカード.....	22
Data Code.....	81	Int. Mic. Wind NR.....	74		Self-Timer.....	70
Date & Time Setting.....	85	IRIS.....	67		Setup.....	81
Date/Time.....	81	L			Shooting Mode.....	64
Dial Setting.....	71	Landscape.....	69		Shutter Speed.....	67
Digital Zoom.....	70	Language Setting.....	84		Smile Sensitivity.....	72
Display Setting.....	83	LCD Brightness.....	83		Smile Shutter.....	72
Disp Output.....	82	Light Bright.....	75		Smth Slw REC.....	64
DVD.....	49	Low Lux.....	68		Snow.....	69
E		LP.....	36		Spot Focus.....	66
Edit/Copy.....	80	M			Spotlight.....	69
Expanded Focus.....	74	Mac.....	55		Spot Meter.....	66
Exposure.....	66	MANUALダイヤル.....	38		Spot Meter/Fcs.....	66
F		Media Info.....	77		SteadyShot.....	34, 70
Face Detection.....	72	Media Select.....	21		Summer Time.....	17, 85
Fader.....	69	Micref Level.....	74		Sunrise&Sunset.....	69
FH.....	36	Movie.....	64			
File Number.....	78	My Button.....	74			
Fireworks.....	69					

T

TC/UB.....	78
TC/UB Disp.....	78
TC Format.....	79
TC Make.....	79
TC Preset.....	78
TC Run.....	79
Tele Macro.....	70
TV Type.....	82

U

UB Preset.....	78
UB Time Rec.....	79
USB.....	15, 55
USB Connect.....	83
USBアダプターケーブル.....	53
USB接続サポートケーブル... ..	10

V

VBR.....	100
Volume.....	74

W

White Balance.....	65
White Balance Shift.....	68
White Fader.....	69
Wide Mode.....	76
Windows.....	55

X

x.v.Color.....	77, 106
XLRアダプター.....	11

Z

Zebra.....	75
------------	----

数字

1080i/480i.....	83
1080p/480p.....	83
480i.....	83

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

© 2012 Sony Corporation



4425005010